

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【アジアの航空機システム拠点における産業化促進】

推進当初

申請者	長野県、南信州広域連合	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	302,806千円（63,070千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・航空機システム産業の集積形成 ・大学や企業における研究開発成果等の事業化促進 ・エス・バード内の飯田工業技術試験研究所の環境試験機能の高度化と運用の自立化 ・信州大学航空機システム共同研究講座における研究開発の実施		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○航空機産業振興戦略的統括拠点の整備・運営 ・航空機システム分野横断ユニット支援（負担金）：15,000千円 ・飯田工業技術試験研究所オペレーター（人件費）：6,000千円 ・航空機システム産業振興拠点マネージャー（人件費）：6,086千円 ○航空宇宙産業クラスター形成事業 ・コーディネータによるニーズ・シーズマッチング（補助金）：8,108千円 ・航空機機能品・装備品等の開発の推進（委託料）：3,656千円 ・航空機産業関連の販路開拓支援（補助金）：3,077千円 ○事業化開発支援事業 ・航空機分野の事業化開発補助（補助金）：8,640千円	 NAGANO 航空宇宙産業 クラスターネット	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①航空機関連又は航空機関連技術を活用した製品等の製造品出荷額等（+81.3億円） ②航空機関連技術を活用して新たな製品開発・事業化につながった件数（+25件） ③環境試験設備の利用件数（+400件） ④航空機システム分野横断ユニット修了生数（+19人）	関連URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/seisaku-hyoka/hyouka/hyouka.html

事業概要【「長期戦略2040」推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	489,529千円 (104,804千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・DXなど既存産業の経営改革や、雇用や人口増への波及効果が高い新産業の創出、起業などに挑戦できる環境づくりなどにより、長野地域の経済基盤を強化する。 ・市民や企業など関係者を巻き込み、官民連携の仕組みを構築し、SDGsの視点と先端技術の活用により、課題解決する。 ・将来の社会の中心となる若い世代が魅力を感じる地域をつくり、都市ブランディングの視点で一元的、戦略的に取組みを発信し、特に首都圏から人材を呼び込むことで、東京一極集中の是正、人口構成の適正化、税収増などにつなげる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 新産業・ICT・先端技術分野 【計91,398千円】 (1) 起業家創出プログラム 10,652千円 (2) スマートシティ推進 80,746千円 ○ SDGs分野 【計5,350千円】 (3) SDG未来都市の推進 5,350千円 ○ 都市ブランディング 【計8,056千円】 (4) 発信・コミュニケーション 8,056千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロジェクト事業化数 (+42件) ②雇用創出人数 (+300人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html

事業概要【アートでまちなか「進化」プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県松本市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	406,095千円 (69,020千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・本市の強みである「クラフト」と「現代アート」を官民連携で活かし、市民や観光客が日常的にクラフトやアートに触れる機会を提供し、クリエイティブな産業や人材が集まる都市を目指し、交流人口や移住者の増加を図る。 ・文化・芸術分野の強みを活かした、冬季における魅力的なコンテンツの提供により、特に閑散期となりがちな冬季に、寒さを楽しみに変えてまちの賑わい向上につなげる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○まちなかクラフトめぐり事業 既存の工房やギャラリーの人と場所を結び、バイヤーや消費者、観光客を取込み、販路拡大に取り組む。 ・実行委員会への負担金 8,240千円 ○冬の城下町フェスティバル事業 商店街連盟等と設置している、城下町松本フェスタ組織委員会において、国宝松本城へのプロジェクションマッピング等の、冬の戦略的な観光施策を行う。 ・実行委員会への負担金 60,780千円 ○移住・転職セミナー開催 ・「オンライン合同企業説明会」を開催（別予算：市単費） ・首都圏等での移住相談（別予算：市単費）	 工芸の庭（工芸の五月） 国宝松本城天守 プロジェクションマッピング	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①アート、クラフト等クリエイティブ人材移住者数 (+45人) ②アートでまちなか進化プロジェクト協力店舗数 (+240店舗) ③冬季（12月～2月）の市内観光地利用者延数 (+97,610人)	関連URL	○工芸の五月 https://matsumoto-crafts-month.com/ ○光と氷の城下町フェスティバル https://lightandicematsumoto.jp/

事業概要【INAスーパーエコポリス構築プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県伊那市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	833,000千円 (185,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・ドローン配送や移動・医療MaaS等先駆けて実施する先端技術をより早く実装し横展開する ・地方における地域課題最適解モデルとしてサービスを実装 ・「物理距離」から「時間距離」へのパラダイムシフト・本質的コンパクトシティへ ・マンパワーとテクノロジーの融合による持続的地域社会の実現		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ロボティクスによるマンパワー代替・活用プロジェクト ・パワーアシストスーツ・IoTデバイス・コミュニケーション ロボットによるウェルビーイング実証委託料 (45,000千円) ○ドローンのマルチユース化 ・無人VTOL (無操縦者航空機) による山岳物資輸送開発実証委託料 (17,000千円) ・ドローンによる橋梁点検プラットフォーム構築実証委託料 (15,000千円) ○観光型MaaSの推進 ・トリップチェーン観光型MaaS開発委託料 (30,000千円) ・メタバースによる移住定住促進実証委託料 (20,000千円) ○医療型MaaSの推進 ・オンライン診療・服薬指導・機器実証委託料 (15,000千円) ・妊産婦検診用オンライン診療車両の開発、運用、及び内科診療用オンライン診療車両との2台運用体制の構築委託料 (20,000千円) ○移動型MaaSの推進 ・AIオンデマンド乗合タクシーの高度・EV実証委託料 (10,000千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スーパーエコポリス・サービス利用者数 (+1,662人) ②スーパーエコポリス・サービス実装アプリ件数 (+27件) ③スーパーエコポリス・サービス提供事業者数 (+47社) ④観光MaaSによる地域内滞留者数 (+2,000人)	関連URL	https://www.inacity.jp/shisei/inas-hiseisakusesaku/shinsangyougijutu/

事業概要【官民連携による沖縄県との交流促進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	45,075千円 (21,764千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	長野県と沖縄県は、双方国内屈指の自然豊かな観光県であり、かつ、「長野の山」と「沖縄の海」に代表されるように好対照な魅力を持ち合うため、相互補完できる関係にある。両県の交流連携を進めることにより、 ○広域観光を展開することにより、外国人観光客を中心に、相互送客により、本県への観光客増を図る。 ○沖縄国際物流ハブを活用した海外販路が開拓され、長野県産品の国内外への流通量増を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○チャーター便を活用した旅行商品造成支援事業 旅行会社への支援 (負担金) 15,488千円 ○沖縄県との観光交流促進事業 観光商談会・教育旅行説明会開催 (負担金) 949千円 ○沖縄県との交流促進事業 トップセールス実施 (旅費、使用料) 1,800千円 交流連携PRチラシ作成 (委託費) 149千円 ○信州ブランド推進重点品目等販路拡大事業 物産展開催 (委託費等) 3,378千円		 沖縄県と交流連携協定を締結 (R5.3) (左: 阿部長野県知事、右: 玉城沖縄県知事)
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①沖縄県から長野県への宿泊者数 (+3,072人) ②長野ー沖縄県を結ぶチャーター便運航便数 (+32便) ③長野県産品取引を開始した沖縄県内輸出商社数 (+8社) ④各種交流事業による長野・沖縄両県の訪問者数 (+100人)		関連 URL https://www.pref.nagano.lg.jp/ki-kaku/kensei/shisaku/okinawa/okinawa.html

事業概要【関係人口の次のステージとなる”共創人口”構築事業】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,696千円（16,157千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・都市部や県内別地域の人材が、関係人口として、空き家DIY等のイベントに参加し、地域住民と共に継続的に何かを創り、コミュニケーションを通じて強いつながり関係を構築することで、二地域居住や移住の適地として選ばれる地域となることを目的とする。 ・テレワークの普及等により、地方への移住や二地域居住を志向する都市住民が増える中、地方最高の魅力である自然や田園風景、食の豊かさを実感できる「農（農ある暮らし）」を通じて、関係人口化を図る。 ・持続可能な地域づくりの取組を促進・支援するため、中間支援人材の養成を行い、中間支援人材同士、その他地域づくり人材が有機的に機能し、地域づくりを下支えする体制の県内各地への展開を図る。		
事業概要・ 主な経費	○空き家DIYを通じて、参加者が地域住民と共に継続的に何かを創り、交流することで強い関係性を構築する「共創人口構築イベント」の開催 ・研修講座、DIYイベント、フォーラム開催経費（委託料）4,464千円 ○遊休荒廃農地等を市民農園に整備した「農ある暮らし農園」で販売可能な農作物作りに向けた講習会の開催や農園のPR、体験農園の企画・運営 ・講習会開催、体験農園実施経費（人件費等）5,971千円 ○各地域で栽培講習会や勉強会等の講師を務める「農ある暮らし地域サポーター」の県内地域への派遣、サポーター向けの研修会の開催 ・サポーター登録管理、研修会開催経費（人件費等）2,222千円 ○中間支援人材養成講座の開催 ・養成講座、交流会開催経費（委託料）3,500千円		
KPI	※経費内訳はR6年度事業費 ①移住者数（+574人） ②荒廃農地の解消面積（+600ha） ③本交付金事業で実施するイベント・研修会等への参加者数（+1,650人） ④空き家DIYを通じた空き家の解消数（+14軒）		
		関連URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/ki-kaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/index.html



事業概要【ICT産業集積等推進プロジェクト】

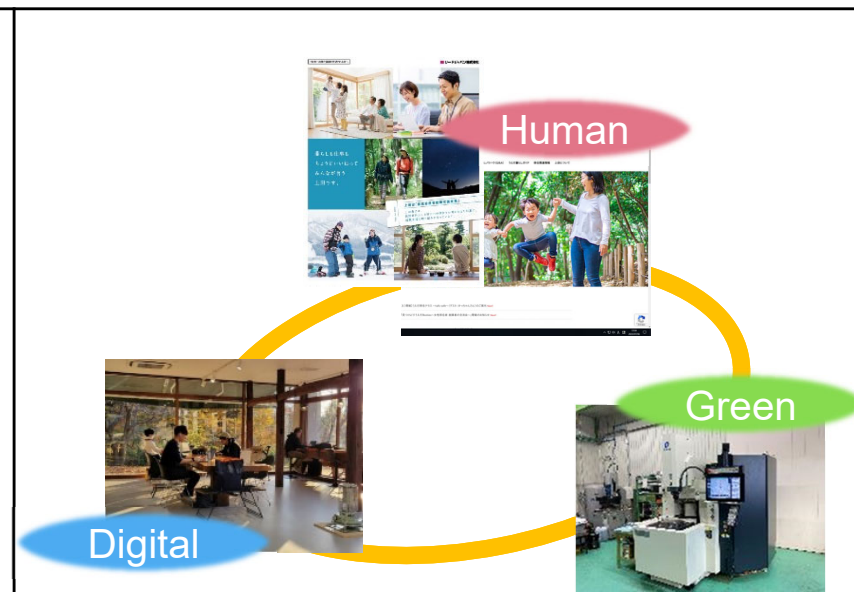
推進当初

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	117,502千円 (40,044千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・産業の担い手のための人口確保、ICT産業の担い手となるIT人材の確保、スマートシティの担い手となる企業の確保を目的とする ・これら担い手が確保されることで、生産年齢人口の減少に対応し、スマートシティの実現やICT産業の集積により、市内経済が活性化されることを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 移住関連を中心とした東京圏への情報発信 (委託料7,000千円) 2 IT企業の人材確保と新たな雇用創出につながるIT専門人材の育成等 (委託料15,815千円) 3 IT関連企業等の誘致活動 (委託料、使用料、役務費、負担金17,229千円)		  
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①IT人材育成者の就職者数 (+50人) ②IT関連企業等誘致件数 (+24者) ③社会増減の改善数 (+300人)		(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html

事業概要【ヒューマン×デジタル×グリーンによる持続可能なまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	長野県上田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	318,640千円 (104,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	ヒューマン（地方への人の流れの創出）・デジタル（地方創生に資するDXの推進）・グリーン（脱炭素社会の実現）の3つの視点に対応する具体的な取組を組み合わせ、相互連携のもと、段階に展開していくことで、人口の減少抑制を目標とする当市総合戦略の達成を目指すとともに、訪れたい・住み続けたいと思えるような、魅力にあふれ、また持続可能なまちづくりとして全世界共通の目標であるSDGsの各目標達成にも資する将来像を描く。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【ヒューマン事業】 ○移住支援サイト運営事業 相談業務等 委託料6,200千円 ○移住希望者就職支援事業 相談業務等 委託料5,500千円 ○若者自立定住促進事業 相談業務等 委託料27,000千円 【デジタル事業】 ○スタートアップ・サテライトオフィス開設 地域課題解決の意思のある市内事業者 補助金10,000千円 ○ワーケーション推進事業 コンシェルジュ委託等 委託料など10,500千円 【グリーン事業】 ○地方創生実践プラットフォーム基盤強化事業 民間企業の先進取組をコーディネーターが支援 委託料15,000千円 ○生産性向上投資促進事業 高効率設備投資への補助 補助金30,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①行政支援による移住者数 (+150人) ②ワーケーションプログラム利用人数(+300人) ③事業実施による若者の正規雇用人数(+30人) ④デジタルコミュニティ通貨ユーザー数(+1,500人)	関連URL	上田市まち・ひと・しごと総合戦略 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/1531.html 地方創生推進交付金事業の効果検証 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/2184.html



事業概要【子育ても働きがいも！子育て・就労支援の総合応援プロジェクト事業】

推進当初

申請者	長野県須坂市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	237,730千円（76,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	子育てを行いながら、働く意欲のある人が、その知識や能力を生かし、多様な働き方にチャレンジでき、子どもたちを見守りながら就労にチャレンジのできる環境整備に加え、きめ細やかな子育て支援や育児に取り組む世代への支援体制をより充実・強化させ、豊かな気持ちで子育て・就労の両立が叶う、「子育ての心配がなく、安心して働けるまち」を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○子育て・就労支援総合拠点運営事業（委託料）45,000千円 ○就業希望者のためのスキルアップ事業（委託料）5,000千円 ○働き方改革啓発促進事業（委託料）5,000千円 ○子育て世代による創業等スタートアップチャレンジ事業（委託料）5,000千円 ○子育て・就労を応援する地域の魅力アップ情報配信事業（委託料）1,500千円 ○いきいき！職場改善支援金助成事業 ・子育て世代が働きやすいと思える職場環境づくりに関する取組み（ハード経費）に対する支援（補助金）15,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①拠点に関連した子育て世代の就業のべ人数（+90人） ②子育て・就労総合支援拠点のべ利用者数（+13,500人） ③拠点における外部からの業務受託件数（+15件） ④子育てしやすい環境づくりに具体的に取り組んだ企業の件数（補助金交付を受けた企業の件数）（+25件）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.suzaka.nagano.jp/material/files/group/3/kofukin_kosodateouen_jigyogaiyo.pdf （効果検証） https://www.city.suzaka.nagano.jp/material/files/group/3/kofukin_kosodateouen_shinchoku_20240331.pdf

事業概要【農と林の地域資源を活用するイノベーション促進事業】

推進当初

申請者	長野県伊那市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	257,000千円 (77,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・農林の地域資源を活用した新商品開発を行い地域資源の活用促進を図る。 ・新規開設した施設を使いイベント等を開催することで人材育成を図る。 ・産学官連携拠点施設の関係企業等との連携により農林業に関わるイノベーションを起こし、農林業に関わる仕事が事業として成り立つようにする。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○農林に関わる起業支援事業 ・アイデアソン実証事業支援（委託料）6,000千円 ○持続可能な農林業推進事業 ・持続可能な農林業推進（委託料）7,000千円 ・林業の持続可能性調査（委託料）8,000千円 ・小規模熱供給システム開発（委託料）17,000千円 ○地域資源活用実証事業 ・地域資源活用実証（交付金）15,000千円 ・地域資源観光活用（交付金）24,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新商品開発件数（+25件） ②イベント等参加者数（+600人） ③商品の売上高（+12,100千円） ④施設利用機関数（+10社）		関連URL https://inadani-sees.jp

事業概要【人の流れづくりと全世代・全員活躍を通じた「まちなか」活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県駒ヶ根市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,000千円 (9,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人口減少や少子高齢化の進展により空洞化と来訪者減少が進む中心市街地（まちなか）で、多様な人が集う賑わいをつくるために、地域資源を活かした、全世代・全員活躍の機会創出による「人の流れづくり」に取り組み、これを通じて生涯活躍のまちの実現を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	中心市街地（まちなか）に多様な人が集まる目的を創り出すために、まちなかの地域共生拠点施設を活用する。 【A】地域資源を活用したプログラム（SDGs、国際理解教育、チームビルディング）により、教育旅行やワーケーション受入：4,300千円 【B】地域資源を活用したユニークな取り組みを切り口にした「学びと交流の場」づくり：900千円 【C】人手不足で対応できていない地域内外の仕事/作業を集め、気軽に取り組めるレベルに細分化及び高齢者への提供：2,500千円 【D】商店活性化カード（つれてってカード）のデジタル化により、プリペイドカードとポイント連携させることで、まちなかへの来訪者増加とまちなか消費増加の相乗効果を狙う：2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①教育旅行受入人数（+1,540人） ②学びと交流プログラム参加者数（+300人） ③新たな活躍の場に関わる高齢者数（+20人） ④中心市街地の歩行者交通量（+170人）	関連URL	https://bit.ly/420PRaX



地域交流
拠点

地域交流拠点を核に様々な機能を街なかに展開



申請者	長野県中野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,607千円（13,607千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・新たな「価値」を農産物に付加し、インターネットを活用した販売により生産者の販路開拓を支援する。 ・農産物定期便や農業体験ツアー、若年層向けのPR動画による発信、本市農産物等のPRイベントの開催などにより、農業の魅力発信と本市の認知度向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	課題 農家の収益 市の認知度 農家数減少と高齢化 新たな「価値」の創造と他産地との差別化 ターゲット層を絞ったPR等 農業の魅力発信 「農家」「農産物」「中野市」のファン獲得 信州なかの FAN PROJECT		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業所得額（+10億5,000万円） ②プラットフォームを活用した生産者売上額（+175万円） ③プラットフォーム利用者数（消費者）（+70人） ④新たな資源を活用した観光ツアー利用者数（+150人）	関連URL	https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2023122700038/

事業概要【立川市を起点とし多摩地区及び首都圏からの交流人口・

推進当初

関係人口の拡大及び地域資源への関わりを通じた関係人口創出事業】

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和4年度第1回
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,600千円(4,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	・首都圏でも茅野市とアクセスの良い多摩地域との連携による地域の活性化 ・IT関連企業の誘致や、首都圏のIT企業につとめながら茅野市に暮らしつづけるライフスタイルの創出 ・地域資源の活用に地域外市民の視点を生かした「コト」づくり事業の創出 ・新たな関係人口を通じた労働人口の流入による高齢化・生産年齢人口減少の抑制		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	本事業を通じて前年度までに構築した茅野市と多摩地域との連携、新たに造成した茅野市独自のワーケーションプログラムを活かして、都市部等でプロモーション活動を行い新たな関係人口の獲得を目指していく。 また、本事業を通じて茅野市との関わりが生まれた新たな関係人口が定着していくための支援を行う。 ・都市部企業等を対象としたワーケーションプログラムによるプロモーション事業 2,500千円 ・大学生等を対象とした地域活動の支援に関する事業 800千円 ・本事業全体を通じて創出した関係人口者の事業定着化に向けた伴走支援 1,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①IT関連企業の首都圏等からのサテライトオフィスの設置および起業数(+6社) ②立川市を始めとする都市部のIT企業等と行うイベント等への参加者数(+110人) ③地域資源への「関わりしろ」について発信した情報の到達数(+5,950件) ④地域資源に関する「コトづくり」事業等への参加者数(+100人)	関連URL	https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzais/ei/1209.html

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	290,366千円 (60,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	当市が総合戦略に掲げた「若者に選ばれるまち」の実現のため、データやデジタル等の先端技術を活用し、市民が便利で暮らしやすさを実感できる新たなサービスの展開と、新たな技術が地域内に持ち込まれることにより付加価値の高い新たな産業や雇用を創出すること、またこれらの情報を効率的かつ広域的に発信することで、地域における若者の移住・定住の促進と、人口減少・少子高齢化による地域の担い手不足の解消を図り、子どもからお年寄りまで全ての市民が暮らしやすいまちの実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	本事業においては、地域DXを推進することで総合戦略に掲げた「若者に選ばれるまち」の実現を目指す。そのため、「データ連携基盤」を活用した、デジタルサービスを提供及び情報発信、また構築する職員や利用する市民等の情報リテラシー向上などの施策を並行して行い、便利で暮らしやすい街づくりに寄与する。 ○構築した都市OS等の機能拡張事業 9,000千円 ○デジタルサービス実装事業 12,000千円 ○デジタル人材育成、情報リテラシー向上 1,500千円 ○DX専門人材による支援 38,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①都市OS利用者（ID登録者）数（+14,130人） ②都市OSを活用したサービスの実証件数（+19件） ③デジタル人材研修受講者数（+590人）	関連URL	https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html

事業概要【地域におけるデジタル人材活躍×DX推進事業】

推進当初

申請者	長野県塩尻市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	263,600千円 (59,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・地域課題の解決に資する研究・開発・実証・実装を官民協働で持続的に展開する仕組みの構築を図る ・地域DX領域の新たな社会機能の創出を図る ・デジタル分野への新たな就労を求める人材がデジタル人材として活躍する場の創出を図る		
事業概要・ 主な経費	○課題解決に必要な先進的なテクノロジーやソリューションを有する企業の参画促進 ・セミナー及びショーケースイベント開催費 3,000千円 ・アセット集積活動費 3,600千円 ○地域課題を解決する事業開発プロセス推進のコーディネート及びサポートの実施 ・地域DXコーディネーター 12,000千円 ・DXサポートスタッフ 9,600千円 ・プロジェクト推進・総括支援 20,000千円 ○地域DXで必要となるデジタル人材の育成・確保 ・デジタル人材コーディネーター兼DXサポートスタッフ 4,800千円 ○プロモーション、各種諸経費 ・事業活動諸経費 6,000千円		
※経費内訳はR6年度事業費			
KPI	①・・・交通DX分野で社会実装したサービス数 (+4件) ②・・・事業開発プロセスに参画した企業数 (+30者) ③・・・交通DX分野での実証実験数 (+25件) ④・・・自営型テレワーク事業からキャリアアップし事業開発プロセスにおいて就労した地域デジタル人材数 (+225人)		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL https://www.city.shiojiri.lg.jp//sos_hiki/7/37656.html		

事業概要【地方創生に対応する未来技術『ポリネコ！』を活用した、新しい住民参加型システム によるコミュニケーション拡大事業】

推進当初

申請者	長野県千曲市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	22,800千円（7,100千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・“住民同士、住民と行政など人同士がつながるコミュニケーション”を実現する。 ・地域や暮らしに関する「声」を回答が公開される形で受け付けることで、市政に関わる人をはぐくむ。 ・個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、こども基本法を生徒、教員の意思形成を行う。 ・移住を検討、希望している人に千曲市の環境を伝えやすくする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	オンライン学習型輿論調査及び意思形成メディアである『ポリネコ！』を活用して、1.住民からの「声」の受付、2.消防団のポンプ操法大会を中心とした現状把握と解決に向けた意思形成、3.市内6つの地区ごとでの防災認識の把握と意思形成、4.こども基本法に対応するコミュニケーションのあり方の意思形成を中学校の生徒と教員が一緒に行う、5.地域開発について新しいまちづくりとして位置づけ、保育園の保護者を中心に「声」を集めつつ、継続的なコミュニティを形成する、6.中学校での防災ワークショップ、以上の取り組みを展開。 ・住民参加型システム構築経費（委託料）7,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①GIGAスクール環境の実現に参加する市民数（+18,100人） ②地域課題について『ポリネコ！』により意思表示を継続的に行える市民数（+16,400人） ③地域課題について『ポリネコ！』により意思表示を継続的に行える関係住民数（+400人） ④実現する千曲市のビジョン、地域課題に関わる意思形成の件数（+4件）	関連URL	https://www.city.chikuma.lg.jp/index.html



事業概要【新たな地域公共交通サービスの構築と地域の持続的发展推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	125,895千円（51,764千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・ 地域公共交通の充実を図る ・ 観光客等来訪者の受入体制を整備する ・ 安心して移動できるコンパクトなまちづくりを推進する ・ 農業・観光・文化を生かした地域ブランドの創出と関係人口拡大を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○AI活用型デマンド交通運行に係るシステム使用料・保守管理（26,464千円） ・予約管理システム運用費 ・利用予約ツールの充実（LINE連携） ○来訪者の受入体制準備（10,300千円） ・来訪者向け案内パンフレット作成 ・地域MaaSの構築 ○コンパクトなまちづくり（15,000千円） ・移動サービス及び関連施設の決済一元化		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デマンド交通利用者数（+1,320人） ②農業体験者数（+1,100人） ③シェアサイクル利用台数（+300台） ④イベント等開催回数（+20回）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/site/kokyokotsu/2597.html （効果検証） http://cms2020.city.azumino.nagano.jp/control/preview/soshiki/detail.php?lif_id=114757

申請者	長野県青木村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	28,000千円 (9,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	○関係する法人、市町村から新たな関係人口を創出し、関係性をいかした事業を展開する ・東急グループ関係者を呼び込む取り組みと、関係性を進化させる取り組み ・地域資源（農産物、工業製品など）を活かした関係人口創出、産業振興の取り組み ・新たな地域資源の掘り起こし		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○五島慶太未来創造館を活かした取り組み ・東急グループへの来訪を促すプロモーション（2,500千円） ・五島慶太ゆかりの地を巡る周遊コースの整備（5,000千円） ○農産物を活かした取り組み（1,500千円） ・新たな加工品の開発、PR ・来訪せず販売ができるシステムの構築  五島慶太未来創造館		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①商品開発参加企業（+5社） ②五島慶太未来創造館でのワークショップ実施回数（+25回） ③製造出荷額（+10億円）	関連URL	https://www.aoki.nagano.jp

事業概要【みのわの「知」と「しごと」の拠点拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県箕輪町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	39,200千円 (10,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・地方創生テレワーク交付金にて整備された東箕輪サテライトオフィスの継続的利用を促すとともに、更なる魅力の構築と利活用者の増加を図り、地方への新しい人の流れを創出 ・東箕輪サテライトオフィスを核としたデジタル人材の育成		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○東箕輪サテライトオフィス利活用促進事業 3,700千円 利用促進イベント等実施（委託費）、P R印刷物等の制作（委託費） ○東箕輪サテライトオフィス進出企業と地元企業の共同開発事業 ・農業従事者の現状調査（委託料） 1,000千円 ・農作業機械等の遠隔操作システム開発、スマート農業のデモンストレーション（委託料） 2,000千円 ○デジタル人材の育成事業 ・デジタル機器セミナー開催（委託費） 1,000千円 ・ICTフォローアップ講座（委託費） 1,000千円 ・VR・プログラミング体験講座（委託費） 1,000千円 ・クラウドソーシングセミナー（委託費） 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サテライトオフィス施設利用者数（+1,800人） ②サテライトオフィス県外利用者割合（+20%） ③サテライトオフィス進出企業と地元企業とのマッチング数（+3組） ④移住者数（+144人）		
		関連URL	https://www.town.minowa.lg.jp/kikaku/keiei0009_mirai.html



事業概要【宮田村Uターン・関係人口拡大若者人材確保プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県宮田村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,359千円 (13,434千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	ふるさと郷育の推進 若者ならではのアイデアをまちづくりや、情報発信事業に生かす。 地域の魅力の発信により関係人口や若者の移住者数の増加を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若者活躍ふるさと郷育事業 参加する若者やアドバイザーなどの報償費等 778千円 ふるさと教育をコーディネータ専門員の報酬 2,150千円 電子会議システム使用料 1,384千円 ○地域の課題解決及びPR・情報発信事業 地域活動費補助 3,000千円 AIチャットボット使用料等 522千円 PR活動等イベント出展料金 3,500 千円 P R 活動に使用するイベントの消耗品など 600千円 各種イベント等広告費 1500千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①30代以下の移住者数・・・(+30名) ②若者による新規事業立ち上げ件数 (+7件) ③新規起業件数 (+4件)	関連URL	https://www.vill.miyada.nagano.jp/government-pages/c-archive-plan

申請者	長野県木曽町、王滝村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	115,000千円 (35,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	DMOの収益性を高め雇用の継続と安定化を図るとともに、日本遺産ストーリーをDMO等が主導してプロモーションを実施し地域人材活用や産業振興を関連付けながら多角的に事業推進することにより滞在型観光地づくりを達成させ地方創生につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	観光客の大部分（約8割）を占める中高年層に最も支持率が高い日本遺産ストーリーを用いてDMO自らが滞在型ツアーを造成、販売することで滞在時間、宿泊率を上げ観光消費額増加を図る。 ・日本遺産構成文化財横断的コーディネートによる観光商品造成及び情報発信 3,500千円 ・木工・林業文化を活用した観光コンテンツ構築 4,000千円 ・木曽文化伝承師育成・活用 8,500千円 ・DMO単独型ランドオペレーター運用 9,000千円 ・木曽版リゾートテレワーク推進 3,000千円 ・ビジターセンターを活用した「御嶽山と共に生きる人と暮らし文化」発信3,500千円 ・DMO（木曽町、王滝村）の一元化した観光情報PR等発信事業 4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域連携DMO事業収益額(+39,334千円) ②DMO造成プログラム参加者数(+1,880人) ③外国人宿泊者数(+7,400人) ④宿泊率(+5%)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) 令和6年8月公表予定 https://www.town-kiso.com/chousei/chousei/100367/102026/

事業概要【木工木育推進を核とした未来につながる持続可能なまちづくり計画】

推進当初

申請者	長野県木曽町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	233,584千円 (50,723千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	木工木育を推進するおもちゃ美術館の創設による木製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業を一体的なプロジェクトとして実施することで、木材産業の振興を起点とした雇用機会の創出、観光の振興、多世代交流による子育て支援の充実を図り、人口減少に歯止めをかけ、未来につながる持続可能なまちづくりを進める。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【事業の概要】 ①担い手確保のため生産現場に関する理解を深める農林業体験・伝統食体験・木工体験等の各種体験事業を実施。 ・農林業体験・伝統食体験・木工体験等の各種体験の充実 1,000千円 ②SNSや動画を利用したプロモーションを通じて認知拡大、新規ターゲット層の開拓。 ・Webサイト等の改修・充実 3,200千円 ・SNSの活用による情報発信 900千円 ③子育て支援に関する講座を企画・実施。 ・出張おもちゃ美術館等のイベントの開催経費 4,750千円 ・おもちゃ美術館運営費 37,873千円 ④最新グッドトイへの入替・地域産木材を活用した什器等の製作設置 ・展示品・おもちゃ入替・館内什器の製作設置 (備品購入費) 3,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①林業木材産業の新規雇用者数 (+29人) ②農林業の販路拡大における新規顧客契約件数 (+45件) ③体験周遊型ツアーへの参加者数 (+160人) ④施設入場者数 (+40,000人/年)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) 令和6年8月公表予定 https://www.town-kiso.com/chousei/chousei/100367/102026/

事業概要【信濃町DXイノベーション推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	36,903千円 (13,073千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・事業者DXにより、起業創業などに基づき地方における雇用の創出を目指す ・住民DXにより、誰もがデジタル化された社会でその恩恵を享受できるようデジタル・ディバイドが解消された「デジタル対応社会」を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 地域事業者DX推進事業 ○コンサル・プラットフォーム構築業務費（委託料）4,820千円 2. 地域人材派遣組織構築事業 ○DX相談窓口開設、求人開拓業務費（委託料）1,680千円 3. DXによる地域活性化事業 ○セミナー・イベント開催業務費（委託料）4,420千円 4. 新たな雇用創出事業 ○マッチング支援業務費（委託料）2,153千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①先進的技術等を活用した新規事業件数（+1件） ②業務改善件数（+13件） ③ICT人材と事業者とのマッチング数（4件）	関連URL	（交付金の具体的使徒・実施体制・効果検証） https://www.town.shinano.lg.jp/docs/degidenjigyou.html

申請者	長野県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	166,215千円 (62,601千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・欧米豪などの新たな高付加価値旅行者市場をターゲットとして、外部専門人材の活用、観光レップの配置、デジタルマーケティング等の活用による訴求力あるプロモーションを展開し、消費単価の向上や通年型観光の定着を図る。 ・「持続可能な観光」の国際認証の取得を目指す意欲ある地域を支援するとともに、先進事例の横展開や将来の担い手育成に取り組み、サステナブルなインバウンド観光地づくりを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【欧州・北米・豪州などの地域へのプロモーション】 ○事業実施に係る体制整備 ・外部専門人材の活用 (負担金) <u>13,200千円</u> ・観光レップ設置 (負担金) <u>14,751千円</u> ○インバウンドプロモーション ・高付加価値旅行者向け雑誌・Webサイトへの広告掲載 (負担金) <u>5,875千円</u> ・アドベンチャーツーリズムプロモーション展開 (負担金) <u>2,729千円</u> ・知事トップセールスにおけるプロモーション (委託料・負担金) <u>10,218千円</u> 【サステナブルなインバウンド観光地づくり】計15,828千円 (負担金) ・先進地域等における継続的な取組の支援 ・県内の可能性ある地域に対する研修や地域の分析・調査支援 ・県内観光地における取組波及 ・持続可能な観光地づくりの担い手育成		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①欧州 (独)・北米 (米)・豪州からの延べ宿泊者数 (+169,363人泊) ②訪日外国人旅行者の観光消費額 (+590億円) ③持続可能な観光 (サステナブルツーリズム) に資する取組を行う先進地域数 (+6地域)	 知事トップセールス  サステナブルツーリズム	関連URL 調整中

事業概要【新たな基幹産業を目指す地域IT産業強靱化事業】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	399,947千円 (136,291千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・海外人材や都市部高度人材の受入れ等により、県内IT企業のスキル向上や人材不足の解消、受託型から開発型への転換を図る ・非製造業を中心としたDX推進により新規ITサービスを創出し、あらゆる産業の稼ぐ産業への進化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○コンソーシアムを活用したITビジネス創出支援、ITデータベースによるビジネス創出 ・アイデアソン等を通じたITビジネス機会の創出やマッチング支援等（委託料）35,058千円 ・ITシステム開発支援（補助金）50,000千円 ○データサイエンスの考え方を導入したソリューション提案 ・課題解決経費（研究費）5,329千円 ・外部機関等との連携（委託料）3,849千円 ○リゾートテレワークを端緒としたIT人材の関係人口化推進 ・人材と地域企業の交流やワークショップの企画・運営等（委託料）20,375千円 ○トップDX（デジタルトランスフォーメーション）人材地域コミュニティ創出 ・ワークショップ等の企画・運営（委託料）8,700千円 ○外国人材受入企業のサポート ・サポート窓口の運営等（委託料）9,240千円 ○外国人留学生の就職促進支援 ・就職促進コンソーシアム経費（負担金）1,670千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①経済活動別県内総生産（名目）に占める情報通信業の割合（+1.3%） ②新規IT関連開発プロジェクト支援件数（+30件） ③信州リゾートテレワーク実施者数（+980人） ④外国人材新規受入事業者数（+15者）		関連URL https://www.pref.nagano.lg.jp/seisaku-hyoka/hyouka/hyouka.html



申請者	長野県	初回採択回	令和5年度1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	185,319千円（57,038千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・県内産業の環境調和型への構造転換を進める。 ・グローバルサプライチェーンで稼ぐ技術を身に着け、売上と地域の雇用を確保する。 ・製造業のイノベーション多角化を進め、成長するグリーン市場の獲得を実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○グローバル市場等の需要獲得のための技術・ノウハウの取得支援 ・コーディネーター活動費（補助金）5,298千円 ・外部専門家派遣（謝金、旅費）3,379千円 ・コスト削減支援ツール普及（委託費）3,000千円 ○技術開発の向上支援 ・フードテックを活用した製品開発支援（委託費）5,231千円 ・サーキュラービジネスの展開促進（補助金）3,000千円 ・高品質食品加工機器の整備（設備費）9,500千円 ・海外展開に向けた輸出先国に係る情報提供（委託費）2,696千円 ・電子デバイス・機器分野の製品開発支援（委託費）13,586千円 ○研究開発人材の育成確保 ・事業化戦略策定支援（委託費）10,000千円	事業内容 1.分野別研究会の設置・活動 県内企業が貢献できる可能性が高い産業分野ごとに、研究会を設置し、その研究会活動等を通じて、ゼロカーボンに向けた製品開発プロジェクトを組成及び支援する。 2.製品開発プロジェクトの支援 県内ものづくり企業が行うゼロカーボン関連製品の開発に対し、経費を一部補助することにより、環境対応に取り組む県内企業を支援する。 分野別研究会の設置 電気自動車 環境材料 企業A 企業B 企業C 磁気EL ... 研究会活動、PJ組成 開発PJ① 開発PJ② 開発PJ③ 講師等を交えた事例研究、現場視察 製品開発プロジェクトの組成 補助金による支援 （外部の先端集） 試作開発 試作開発段階への補助 ✓ 上限1,000万円、補助率1/2以内 （ゼロチャレンジ型は上限2,000万円、補助率2/3以内） 県独自財源 製品化・産業イノベーションの創出	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内製造業の売上高（+500百万円） ②グローバル市場等の需要獲得のための技術・ノウハウ取得企業数（+100者） ③グリーンイノベーションに向けた技術開発に取り組む企業数（+100者） ④研究開発人員が充足している県内製造業の割合（+2.0%）	関連URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/seisaku-hyoka/hyouka/hyouka.html

事業概要【海外で稼ぐNAGANO農産物輸出拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,308千円 (18,278千円)
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・海外市場での販路確立による輸出拡大を目指し、産地と輸出関係事業者（流通事業者等）との連携強化（人脈と商流づくり）を図る。 ・本県産のぶどう、コメ、花きの品質の高さ、特徴等について、輸出先国で認知度向上を図る。 ・海外の顧客が求める高品質な商品づくりにより、生産振興と産地の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	1 県産ぶどうの輸出拡大に向けた販売促進活動等の実施（R6シンガポール） ・県産ぶどう販売促進活動等の実施（委託費）8,954千円 ・ぶどう生産者大会の実施（会場使用料等諸経費）600千円 2 県産米の輸出拡大に向けた販売促進活動等の実施（R6アメリカ） ・県産米販売促進活動等の実施（委託費）5,844千円 ・輸出米の産地化に取り組む地域への支援（補助金）2,000千円 3 県産切り花の輸出拡大に向けた販売促進活動等の実施（R6台湾、シンガポール） ・実需バイヤー等の産地招へい等（旅費等諸経費）880千円		
KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①県産農畜産物の輸出額（+7.3億円） ②ぶどう産出額（販売額）（+34億円） ③コメの1等米比率 全国1位（97%以上）（+1.2%）		関連 URL https://www.pref.nagano.lg.jp/seisaku-hyoka/hyouka/hyouka.html

事業概要【体験・体感まつもと インバウンドを含む観光客の周遊及び長期滞在促進事業】

推進当初

申請者	長野県松本市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	55,050千円 (12,740千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・体験・体感や面的な周遊による楽しさの提供により、主力産業の観光業をシンカ（進化・深化）させる。 ①インバウンド需要を取り込むこと ②冬場の観光客を増やすこと ③滞在と周遊を促し、より多くの市内観光消費を増やすこと		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○アドベンチャーツーリズム推進事業 アドベンチャーツーリズムの商品販売に向け、コンテンツ造成支援やガイド育成等を実施 ・研修等（委託料） 3,770千円 ○海外誘客プロモーション事業 海外に向け（主にアジア）、観光地としての松本市や体験コンテンツの情報発信等を行い、松本市への誘客を図る。 ・広告宣伝、情報発信（委託料） 5,800千円 ○まちなか観光DX推進事業 観光周遊アプリを開発・提供し、周遊性の向上を図る。 ・コンテンツ保守等、広告宣伝等（委託料） 2,820千円 ・デジタルサイネージ（借上料） 350千円 ○持続可能な観光地経営支援事業及び支援体制強化 ・乗鞍地域において、セミナーの開催と、DMO専門家や地域おこし協力隊による支援体制強化を実施（別予算・市単費）  中町通り（街歩き） 【街】エリアの体験 【山岳】エリアの体験 乗鞍高原サイクリング 乗鞍高原 氷瀑 「オンザトリップ」 (観光周遊アプリ)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人宿泊者数 (+183,000人泊) ②HaveFun In Matsumoto閲覧者数 (+18,000PV) ③デジタルコンテンツ (SSMR、アプリ) 利用者数 (+15,000人) ④乗鞍高原の観光地利用者数 (+30,000人)	関連URL	○HaveFun In Matsumoto https://www.matsumoto.fun.e.aip.hp.transer.com/ ○新まつもと物語（タイ語） https://visitmatsumoto.com/th/ ○オンザトリップ（観光周遊アプリ） https://on-the-trip.net/spots/581?locale=ja

申請者	長野県松本市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	152,410千円（50,530千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	「デジタルで大都市並みに仕事ができ、豊かに暮らせるまち」、「デジタルのフィールドで新しい自分に挑戦できるまち」の実現に向け、デジタルシティ松本のイノベーション・エコシステムの構築を図る。もって、人口定常化に貢献する。 ・市民が恩恵を実感できるデジタルサービスを生み出すとともに、他地域からの「投資」を呼び込む仕組み構築を図る。 ・地域の新たな価値を生み出す人を育む学びの場を提供を図る。 ・地元企業のデジタル化を進め、デジタルの世界で活躍を希望する若者や女性の「仕事」の場の拡大を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタルシティ松本推進機構・DigiMAT 35,680千円 ・プロジェクトの組成支援に係る補助金（企画、調整、設計等） ・サービスの提供支援に係る補助金（実証実験等） ・外部人材の招聘経費 ※DigiMATへの負担金により事業実施 ○地域のデジタル化を担う人材の育成 0千円 ※DigiMATの活動を軸に取り組む ○デジタルを活用した新規事業を創造する企業を育成 14,850千円 ・企業向けセミナー、フォーラム等のイベント開催 ・個別相談、コンサルティング、企業同士のマッチング、事業周知 等 デジタルシティ松本のイノベーション・エコシステム 松本市DX・デジタル化推進に関する骨太の方針 豊かに暮らせるまち デジタルで大都市並みに仕事ができ 人口の定常化 デジタルのフィールドで新しい自分に挑戦できるまち 目指す姿(VISION) 実感できるサービスづくり デジタルシティ松本推進機構 官民連携の座組をコーディネート 実装・実証のフィールドを提供 価値を生み出す人づくり デジタル人材の輸出 働き口の供給 持続する産業づくり 地元企業のデジタル化 デジタルシティの土台づくり デジタルを使いたい気持ちの醸成 デジタルを使える環境の整備		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロジェクトの組成件数（+9件） ②デジタルサービスの創出に関わる地元企業数（+9社） ③育成したデジタル人材のうち、育成後に就業した人数（+20人） ④支援した企業のうち、新たなデジタル化に取り組んだ企業数（+50社） 関連URL https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/digitalcity/		

申請者	長野県上田市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	94,115千円（33,600千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	上田市における課題は①潜在的な移住希望者からの関心を高めるため、地域の新たな魅力を創出すること、②移住検討に当たっての懸念を解消すること、③移住後の定住を促進すること、であり、①から③の政策が相互連携のもと進捗し、③の結果として定住者が地域の新たな魅力を付加することで①に回帰するといった、「地方創生の好循環による持続可能なまち」を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○日本遺産活用事業 日本遺産のセミナーや検定等により地域住民のアイデンティティの再認識や、地域ブランド化を推進する。 負担金4,000千円 ○地域ブランド創出支援事業 信州上田のブランド化につながる地域資源を活用した商品・サービスの改良開発に対する補助を実施する。 補助金10,000千円 ○空き家セカンドユース事業 空き家のリフォーム及び移住者等への賃貸に対する補助を実施。 補助金5,000千円 ○DX人材育成事業 地域企業を対象にした研修プログラムと、当市での就職希望者やUIターン希望者への講座を実施する。 負担金10,000千円 ○スマート農業推進事業 農業デジタル人材育成と新規就農者確保のため、センシング技術活用やAI選果等を実施する。 委託料4,600千円	地域の魅力創出 移住の懸念解消 定住促進	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①行政支援による移住者数(+150人) ②スマート農業推進リーダー数(+6人) ③地域ブランド創出支援商品等の販売金額(+8,000千円) ④DX等人材育成研修参加人数(+3,000人)	関連URL	上田市まち・ひと・しごと総合戦略 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/1531.html 地方創生推進交付金事業の効果検証 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/2184.html

事業概要【デジタル時代のコーポレートブランド推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県伊那市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	173,378千円 (62,996千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・地域内の強みや弱み等を見直し、地域全体のイメージをブランド化していくことに取り組む。 ・本市の暮らしやすさと洗練されたブランドイメージを県内外に向けて情報発信し、地域内外から定住の地として選ばれ、定住人口、関係人口、交流人口の増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○コーポレートブランドアクションプラン推進 地域ならではの知る調査、ワークショップ、コンセプト策定、戦略立案、具体的アクションプランを立案（委託料） 15,000千円 ○移住定住DX推進 ローコード開発ツールを活用によるシステムの運用及び改修（委託料） 2,500千円 ○メディアミックスによるローカルブランド発信 移住定住人口、関係人口創出につなげるための番組作成、映像媒体活用、関係人口創出に繋げるイベント企画実施（委託料） 30,100千円 ○ローカル発信人材育成 地域プレイヤー育成セミナー実施、ニーズ調査、特設HP運用、セミナー参加者アフターフォロー（委託料） 10,000千円 ○国道361号山麓一サイクル街道構築 基礎資料作成、コースマップ作成（地域内コース）、コース試走、機材レンタル（委託料） 2,500千円 ○高遠石工アーカイブ推進 高遠石工映像記録作成（上伊那を除く長野県内版）（委託料） 4,396千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①20代から40代が世帯主の移住・定住世帯数（+186世帯） ②移住応援サイトのアクセス数（+3,000PV） ③長野県観光地利用者統計調査における観光地利用者数（+5,820百人） ④ワーキングホリデー参加者数（+66人）		
	関連URL	http://www.inacity.jp/shisei/shin_gikaikaigiroku/tihousouseisingikai/index.html	

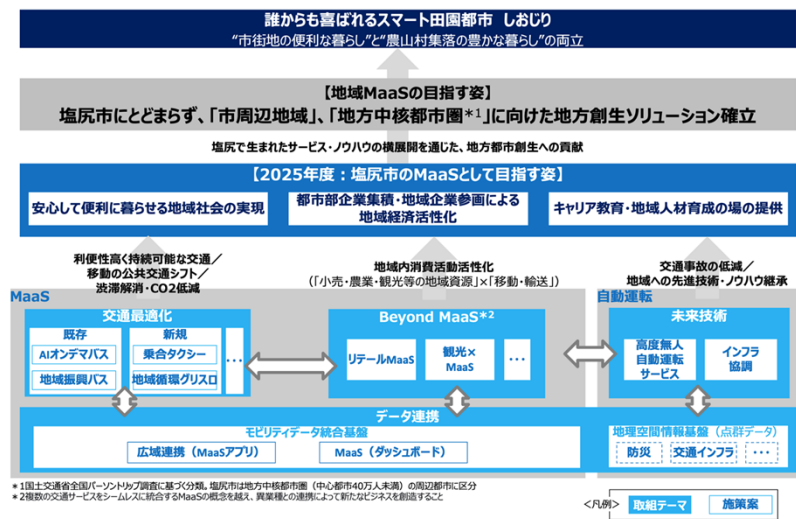


事業概要【中山間地“伊那谷”に根ざすスマート農業】

推進当初

申請者	長野県伊那市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	181,000千円（63,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・アスパラガス自動収穫機の実装を実現し、生産者の経営力・農業生産向上を目指す。 ・農業水利施設を将来にわたって維持管理していく体制を構築する。 ・農業者の農業生産性を向上させ、農業者が将来に渡って農業経営を継続することが可能となることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【アスパラガス自動収穫機の運用に適した圃場整備】 ・圃場整備・自動収穫機の改良等（委託料）28,700千円 ・評価検証費（委託料）10,000千円 ・伊那市農業振興センター負担金（負担金）300千円 【GISを用いた農業水利施設管理のICT化】 ・農業水利施設の現地調査（委託料）12,000千円 ・施設台帳情報のデータ化、地図情報システム導入等（委託料）12,000千円 中山間地“伊那谷”に根ざすスマート農業 前身事業【R2～R4】 地方創生推進交付金【アスパラガスの自動収穫機開発】 伊那市の協賛作物「アスパラガス」の自動収穫機の実装 伊那市の大目標 農家が、安定して一定の収入を確保でき、農業経営を継続できる。 前身事業からの伊那市全体の課題 農業を行う上で欠かせない水を安定供給できる基盤を維持管理していくことも必要である。 ①有期成続続の改良では解決できない課題 ・流水を収容物と認識 ・ハウスの支柱と自動収穫機のアームが接触 ②農業水利施設の管理である土地改良区の管理 ・施設の施設者等のため、支所等間による関与が困難 ・日常業務が非常に煩雑 ・後継への事業の引継ぎが困難 事業実施体制 伊那市農業振興センター 関係者：市議会、市役所、JFA伊那、農業委員会、農協、農業者協議会、お国事業振興センター、土壌改良区、伊那大学農学部、学政課、農政課、文芸部 ■アスパラガス自動収穫機の運用に適した圃場整備 ①アスパラガス自動収穫機の改良では解決が困難な課題を、圃場の整備方法を検討することで対応するとともに、自動収穫機が収穫作業を自動化・安定化できる圃場条件を明らかにする。 ■伊那市「圃場条件」の検討（ハウスの形状、栽培方法、管理方法） ■圃場に合わせた自動収穫機の改良検討（連続運転、ハウス間移動） ■他作物での活用検討（トマト、キュウリ、ナスなど） 目標：圃場整備とセットにした自動収穫機の導入、他農作物への適用 ■GISを用いた農業水利施設管理のICT化 ①農業水利施設の管理をデジタルに転換し、計画的で効率的な運用管理を確立する。 ■農業用水利施設の台帳情報のデジタル化 （施設の施設台帳をデータ化し、現地調査した位置情報と共に一元管理） ■データ集約で技術支援し、蓄積したデータを共有し、施設の維持管理を支援 （日常業務の効率化、スムーズな事業の引継ぎ） 目標：農業水利施設情報のデジタル化による持続可能な維持管理の実現		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規認定農業者数（+1人） ②本事業で支援を行った農家のアスパラガスを含む総生産額（+600千円） ③農業水利施設台帳をデジタル化した土地改良区数（+9団体）		関連URL https://www.inacity.jp

申請者	長野県塩尻市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	104,930千円 (35,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・広域連携及び輸送資源の最大限の活用を目指し、複数の交通モードのシームレスな連携を図る ・交通の周辺領域との連携による波及効果の創出を図る ・地域人材による新モビリティサービスを持続的に担う体制構築を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○複数の交通モードを連携するMaaSアプリおよびモビリティデータ統合基盤の開発と機能強化 ・塩尻型MaaS構築実証負担金 (負担金) 30,000千円 ○交通とその周辺領域との連携によるbeyond MaaS実証実験の実施 ・BeyondMaaS実証負担金 (負担金) 5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・市が提供する地域公共交通サービスの利用者数 (+16,000人) ②・・・MaaSアプリ利用者数 (+200人) ③・・・地域人材のプロジェクト参加者数 (+30人)	関連URL	https://www.city.shiojiri.lg.jp//sos_hiki/7/37656.html



事業概要【社会的企業を育てる環境整備による人材環流事業】

推進当初

申請者	長野県塩尻市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	71,270千円 (24,090千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・社会的起業家のコミュニティを生かし、地域・社会課題を解決するソーシャルビジネス創出の加速と、地域内外の人材の集積と還流を図る。 ・地域型インパクト投資の実装により、社会的起業家の新しい資金調達の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域型インパクト投資の仕組み化と地域での普及促進 ・地域型インパクト投資実装（負担金）7,000千円 ○ソーシャルビジネス創出に向けた人材確保・育成とプログラムの企画運営 ・プログラムマネジメント推進支援（負担金）5,000千円 ・関係人口創出支援（委託料）4,250千円 ・ソーシャルビジネス普及啓発企画推進（負担金）1,590千円 ○社会的起業家コミュニティの強化と地域内プロモーションの実施 ・コミュニティマネジメント推進支援（負担金）6,250千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・新たにソーシャルビジネスを手がけた人数（のبسナバメンバー数）（+135人） ②・・・新たに生まれたソーシャルビジネスの数（法人数）（+10社） ③・・・ソーシャルビジネスの担い手となった関係人口の数（+14人） ④・・・インパクト投資家より投資を受けた企業数（+6社）		関連URL https://www.city.shiojiri.lg.jp//sos/hiki/7/37656.html

事業概要【デジタル人材育成・就労支援事業】

推進当初

申請者	長野県佐久市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	74,000千円 (26,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・地域課題の解決を牽引するデジタル人材の育成・確保 ・女性の社会進出と経済的自立といったジェンダーギャップの解消 ・時代のニーズに合わせた多様な働き方の創出 ・シティプロモーションやシビックプライドの醸成による移住定住の促進		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタル人材の育成講座及び就労支援のプロジェクト管理・運営 ・プロジェクト全般運営（委託料）17,400千円 ○WEBやチラシ等の媒体を活用した広報・情報発信 ・デザイン・構成検討、コンテンツ作成、Webサイト運用費用、パンフレット作成等（委託料）2,400千円 ○リスキングのための研修の実施 ・リスキング（研修）（委託料）6,600千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル人材の就業者数（+120人） ②転入超過数（+1,260人） ③満足度・重要度及び幸福感（+1.5%）	関連URL	https://cosmosta.jp/

事業概要【シンガポールにおける安曇野産農産品の輸出/販売強化事業】

推進当初

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	25,300千円 (8,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・新たな販路を開拓し、農業に希望をもって新規参入ができる環境を整備する ・海外での安曇野市産農産物のブランディング強化を図る ・輸出販売を強化し農家所得の向上につなげる ・安曇野市産農産物を通して関係人口の拡大を図り、インバウンドにつなげる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○東南アジアの中心であるシンガポールにおいて、安曇野産農産品の輸出・販売強化を図り、世界での“AZUMINOブランド”の浸透を目指す。 ・輸出コンサルティングやロジスティクス手配（委託料）1,100千円 ・物産フェアの開催（委託料）2,200千円 ・バイヤーおよび現地メーカー向け商談会兼試食会の開催（委託料）2,200千円 ・安曇野産品の魅力についてのメディア発信（委託料）2,750千円 ・安曇野産品の仕入れ費用、試食会でのシェフ手配料（委託料）550千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①安曇野産品の輸出品目（+7品目） ②商談会参加・イベント開催数（+6回） ③海外に向けたPR回数（+25回）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/site/kyokotsu/2597.html （効果検証） http://cms2020.city.azumino.nagano.jp/control/preview/soshiki/detail.php?lif_id=114757



事業概要【観光デジタル化推進事業】

推進当初

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,427千円 (23,148千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・デジタル導入による観光客受入体制の整備を図る ・北アルプス登山、アウトドアアクティビティ、天蚕等の地域資源の磨き上げを図る ・滞在型観光の推進を図る ・観光DX推進人材の確保、育成を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○メタバースを活用した観光情報発信 8,998千円 ・メタバース追加構築費（委託料） ・管理費（委託料） ・イベント開催費（委託料） ○観光地情報アプリの開発 9,750千円 ・アプリ構築費用（委託料） ・加盟店アプリ設定費用（委託料） ・加盟促進PR費用（委託料） ○観光事業者を対象としたデジタル活用人材育成 4,400千円 ・観光DX推進のための課題調査費（委託料） ・事業者等へのセミナー等開催費（委託料） ・メタバース活用ツアー開催費（委託料） 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル関係人口の創出数（+1,600人） ②メタバース空間でのイベント参加者数（+3,500人） ③アプリ参画事業者数（+40者） ④観光DX推進に係るセミナー参加者（+150人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/32/111453.html （効果検証） http://cms2020.city.azumino.nagano.jp/control/preview/soshiki/detail.php?lif_id=114757

事業概要【小海駅周辺地域再生事業】

推進当初

申請者	長野県小海町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,570千円 (23,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・小海駅を中心としたコンパクト・プラス・ネットワーク型まちづくり（駅周辺に集積する医療・福祉・教育、公共施設などを活かしつつ、町が取得した駅舎及び隣接した商業施設を活かす） ・駅舎等を活用し、町の入り口、近隣自治体との交通結節点として町内外・多世代、多様な人々の交流の場を創出すると共に、町の観光地である松原湖エリアとのネットワーク化を図り、町内全体の活性化を実現 ・駅を中心として賑わいを生み出し、町内財政の健全化を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	令和5年度事業にて策定したランドデザインを踏まえ、令和6年度は以下の事業に取り組む。 ○ランドデザインに基づく駅舎・周辺エリアデザイン推進【委託費 15,000千円】 駅舎・周辺エリアの建物基礎調査 1,500千円 図面・マップ作成 8,000千円 駅周辺エリアの再開発に関わる要件定義 1,500千円 町内ヒアリング 500千円 駅周辺エリアのコンセプト・利用方針・具体的施策設計 3,000千円 コンセプトリリースイベント 500千円 ○事務局運営費（塾・自習室及び交流スペース） 6,000千円 専門人材配置・人材費 3,000千円 イベント・体験教室開催費 3,000千円 ○駅舎を活用した地域交流拠点の環境整備【委託費 2,000千円】 拠点運営環境整備費 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小海駅周辺を中心とした町内全域における民間企業との連携イベント実施数（+12回） ②学生を中心とした地域交流スペース（塾・自習室、コミュニティカフェ機能）の利用者数（+30人） ③小海駅の1日の平均乗降客者数（+120人） ④「小海町にずっと住みたい」と思う町民の割合（+5%）		関連URL https://www.koumi-town.jp

申請者	長野県佐久穂町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	61,041千円（23,400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・「森林資源の活用・南佐久郡の林業6次産業化の機能整備」と「千曲川流域・森林フィールドにおける人づくり」による産業化		
事業概要・ 主な経費	①地域商社設立準備業務 委託料 9,500千円 ②地域材・森林フィールドを用いた商品開発・販路開拓業務 委託料 6,000千円 ③森づくり×人づくりの取り組み検討業務 委託料 7,000千円 ④林業6次産業化に向けた地域間協議会 発足・運営業務 委託料 900千円 ※経費内訳はR6年度事業費 スキームイメージ 県の施策との親和性 長野県 ゼロカーボン戦略 信州型自然保育 信州自然留学 佐久森林 認証協議会 近隣 自治体 身体教育 医学 研究所 UDC信州 連携 協力 新事業体 製材/商品開発機能 南佐久郡の物流拠点 地域民団連携の要 連携 協力 木質バイオマス 発電事業者等 周辺関連事業者 森林資源の活用、 カスケード利用等 商品開発・販路開拓 ワークショップ等開催 各種情報発信 大日向 小中学校 佐久穂 小中学校 さくほ 森の子育成 クラブ 認定こども 園ちいろば の杜 マーケット エンドユーザ 地域材で校舎建築（材の提供）、森林フィールド活用、 森林林業キャリア教育、学校魅力化、関係人口創出 等多面的連携		
KPI	①・・・本交付金事業実施に伴う林業関係事業への新規就業者数（副業を含む）（+2人） ②・・・本交付金事業実施に伴う町産木材の町内での使用量（+15m³） ③・・・地域の森林資源を利用した新たな教育カリキュラムやイベント等へ複数回参加した人の人数（+100人） ④・・・再造林面積（+15ha） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		
関連URL	https://www.town.sakuho.nagano.jp/		

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【官民連携による空き家開拓と移住者マッチング事業】

推進当初

申請者	長野県下諏訪町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	20,873千円 (5,721千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	当町には多くの空き家や空き店舗があるにも関わらず、多くの物件が流通できていない状況のため、せっかく相談に来てくれた移住相談者を受け入れることができないという大きな機会損失が起きている。 本事業により、民間事業者や地域住民と連携し、滞っていた空き家物件の利活用を進め、移住者の受け皿を増やすことで、移住を検討している方が夢をもって移り住むことができるまちを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①地域住民を巻き込んだ空き家情報収集のネットワーク構築 ②移住相談窓口の体制強化 ・移住定住促進支援業務 4,796千円 ③空き家情報発信のプラットフォームの構築 ・移住総合サイト制作業務 925千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①町が紹介した空き家に移住者が居住した件数（+27件） ②空き家物件の掘り起こしを行い、下諏訪町空き家情報バンクに登録した物件数（+55件） ③町が紹介した空き家物件を活用した開業件数（+8件）	関連URL	https://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/index.html

事業概要【リニア時代を見据えた商店街を中心とする地方創生事業】

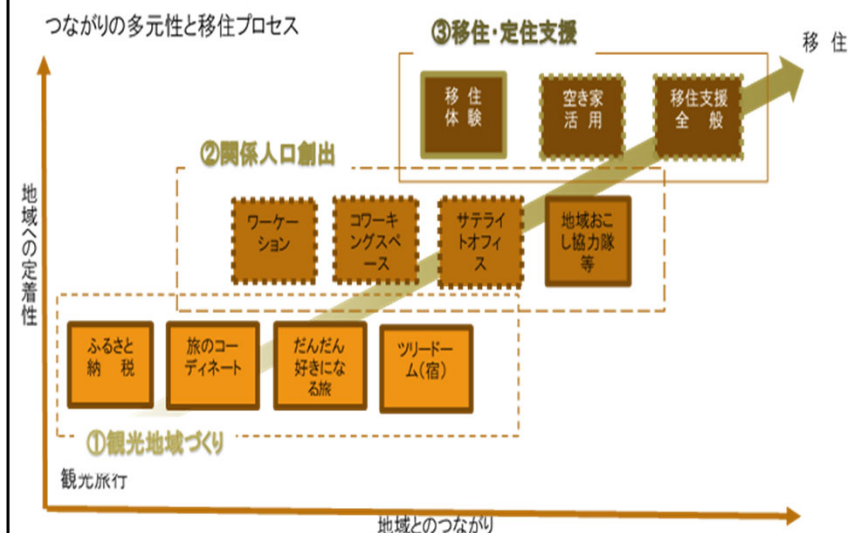
推進当初

申請者	長野県松川町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	44,240千円 (13,410千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・商店街を交流人口の拠点及び地域住民の活躍の場滞在の場の拠点としてリノベーション ・新しいひとの流れ”と”しごと”を生み出し、新たな町の賑わいを創出 ・観光交流人口の増を基点とした都市部からのお金の流入と、地域でお金がまわる仕組みを構築 ・交流人口を町全体へ誘客できる仕組みづくり		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新井商店街への企業誘致事業（委託料）1,100千円 ○新たな販促検討事業（委託料）2,200千円 ○学生視点による新井商店街のリノベーション事業 ・中高生の地域デザイン（委託料）2,520千円 ・プロジェクト参加型インターン（委託料）4,400千円 ○外部人材を活用した交流人口増のためのコンテンツ開発（委託料）2,090千円 ○Lineを活用した商店街の販促情報発信システム運営（委託料）1,100千円 商店街を取り巻く組織と法人が担う役割のイメージ まちづくり組織 ※公益的の事業を実施。団体をつなぐハブ的組織 グループ新組織 ※ 営利的の事業を実施。まちづくり事業を推進 まちづくり組織 設立後のイメージ ■ 設立予定の組織 ■ 連絡会組織 ※情報共有や事業提案を実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新井商店街事業所数（+3件） ②新井商店街空き店舗数（▲3件） ③JR伊那大島駅利用者数（+50人） ④観光消費額（+15,000千円）	関連URL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html

事業概要【アフターコロナ及びリニア開通後の観光交流と若者の移住定住人口増を促進 させることを目的とした地方創生事業】

推進当初

申請者	長野県松川町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	189,867千円 (59,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・観光で誘客しながら当町を知ってもらい、ワカモノの移住定住へ結びつける ・リニア開通後の地域回帰や2地域居住の地に当町が選ばれるような取組を行う ・移住定住を考えている相談者の受入体制を整備 (移住希望者と自治体のマッチング体制) ・移住定住者の増による人口減少時代に打ち勝つ地方創生の実現を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○旧松川青年の家エリアを活用した自然体験企画造成及び運営 (委託料) 7,700千円 ○町観光施設のバーチャルツアーを活用したPR事業 (委託料) 500千円 ○ガストロミーツーリズム企画造成 (委託料) 14,900千円 ○外部人材活用促進インターンシップ事業 (委託料) 3,300千円 ○移住定住促進事業 (委託料) 5,000千円 ○旧松川青年の家グラウンドリノベーション事業 (委託料・工事請負費) 28,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数 (+8人) ②移住体験住宅利用者数 (+11人) ③町内観光宿泊者施設宿泊者数 (+200人泊) ④来訪者満足度調査における再来訪意向率 (+11.0%)		
		関連URL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html



事業概要【信州「空モビリティ×山岳高原イノベーション」創出事業】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	438,041千円 (48,890千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・次世代空モビリティ（ドローンや空飛ぶクルマ）活用により、地上の制約に捉われない新たな山岳高原を創造する ・中山間地域でも買い物や医療等のサービスを楽しみ、災害時にも安心安全な暮らしの実現を図る ・山小屋の負担軽減や山岳遭難対策、新たな観光コンテンツ作りを進め、山岳高原観光の更なる魅力向上を図る ・様々な業種で新たなサービス・雇用が創出され、地域内経済が循環するエコシステム構築を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○次世代空モビリティの理解促進・社会受容性向上 ・イベント、シンポジウム等によるPR（委託料）12,329千円 ○多数の企業を関連事業に参入させるための仕組みづくり ・空飛ぶクルマのユースケース&経済効果の調査（委託料）21,080千円 ・「信州次世代空モビリティ活用推進協議会」での具体事業創出のマッチング（委託料）5,151千円 ○次世代空モビリティ社会実装に必要な環境整備 ・ドローンサービスの紹介プラットフォーム構築（委託料）330千円 ○次世代空モビリティ社会実装を加速させるための支援 ・民間企業による県内での次世代空モビリティ事業化準備支援（補助金）10,000千円 画像出展：経済産業省HP 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+14人） ②実装された観光関連事業数（+3件） ③実装された生活利便性関連事業数（+4件） ④空飛ぶクルマの離着陸場設置予定数（+6箇所）	関連URL	https://sites.google.com/union.nagano-map.lg.jp/nagano-dx/airmobi

事業概要【信州ウェルネス産業創出事業】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	236,571千円 (81,690千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ウェルネス関連プロジェクトの推進を通じて、県内産業の成長、ブランド化を促進 ・技術支援やネットワーク構築により、ウェルネス産業分野の発展と企業間の連携を強化 ・ベンチャー・スタートアップへの支援を通じて、新たな技術開発の促進と事業効果を最大化 ・デジタル化支援施策の拡充により、ウェルネス産業のデジタル化に対応		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○研究開発プロジェクトの創出支援 コーディネータ／アドバイザー活動費（補助金）16,402千円 「食」と「健康」ラボ機能形成（委託費）2,882千円 ○人材育成プログラムの構築・実施 人材育成プログラム運営（委託費）8,991千円 ○企業の技術開発、ベンチャー・スタートアップへの支援 ヘルステック関連機器開発支援（補助金）21,600千円 ベンチャー・スタートアップ創出支援（委託料・補助金）10,403千円 ○ブランド力（健康長寿・海外訴求力等）の強化 「発酵・長寿NAGANO」ブランド力向上（委託費・使用料等）7,316千円 ○デジタル化への対応 ヘルステック関連機器デジタル化等プロジェクト（委託費）14,096千円 しあわせ信州		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+150人） ②ウェルネス産業における製造品出荷額（+180億円） ③研究開発プロジェクトの創出件数（+30件） ④人材育成プログラムの受講者数（+150人）	関連URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/chiran/sogokeikaku/index.html

申請者	長野県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	114,174千円 (38,058千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	女性・若者にとって魅力的な産業、職場づくりを推進し、それらの魅力とともに長野県で「暮らす」「働く」魅力を広く発信していくことにより、若者・女性が定着・転入し、持続的に発展していく長野県を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	魅力や価値の活用方法を学べる仕組みづくりと、企業と県が連携して女性・若者に向けた発信を行っていく体制づくり、既存企業がその魅力を自覚して発信ができる取組づくりを2つの大きな事業軸で展開していく。 ■女性・若者に向けた発信力の強化 (委託料：16,058千円) ■地域・既存企業・団体等が女性・若者から共感を得る価値の強化 (委託料：22,000千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・地域のUIターン数：（+826人） ②・・・ブランド戦略を理解し、情報発信を行う企業数（+300社） ③・・・地域のビジネスプロジェクト参加企業数（+60社）		関連URL https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/index.html

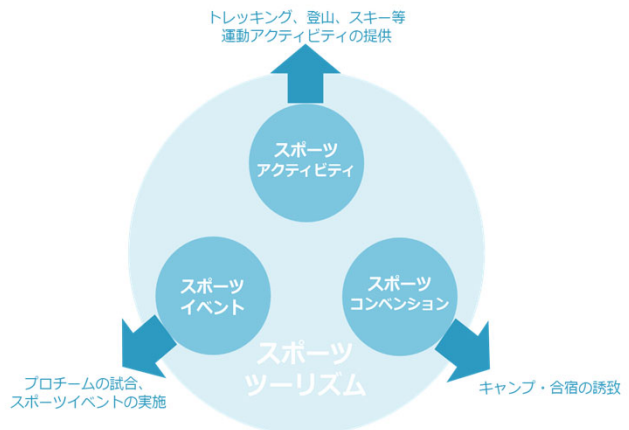
事業概要【データ活用人材育成等拠点創造事業】

推進当初

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	154,200千円 (44,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・人口減少などの社会経済情勢に対応するため、市内企業の専門人材育成や生産性向上（DX推進）の支援を行う ・社会人等に対し、データサイエンス（DS）講座を信州大学工学部と実施する ・DS講座を受講した社会人等が自社の生産性向上（DX推進）について取組むことを産学官金の連携により支援する ・専門人材の育成やDX推進を支援することで、更なる新産業・新技術の創造が促され、地域産業の活性化を図ることができる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 専門人材の育成支援 信州大学工学部等と連携し、社会人と高等教育機関に通う学生に対して人材育成を行う。 （1）企業向けデータサイエンス講座 （2）若手IT人材育成プロジェクト 【報償費4,200千円、委託料12,000千円】 2. 生産性向上（DX推進）支援 【委託料28,000千円】 産学官金が一体となった データ活用人材育成・生産性向上支援拠点		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 (+112人) ②雇用創出人数 (+126人) ③企業において生産性向上が行われた案件数（通算） (+310件) ④人材育成講座の参加者数（通算） (+450人)	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html

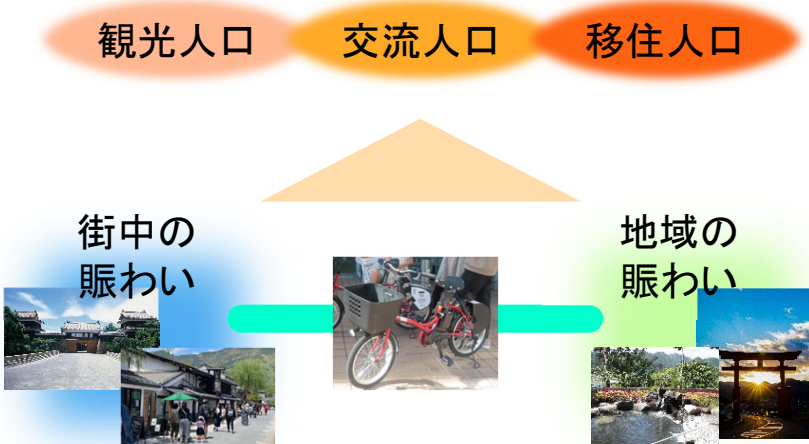
事業概要【「長野市版スポーツツーリズム」推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	55,000千円 (16,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・オリンピック施設等市内スポーツ資源や気候・環境といった本市の強みを生かし、夏季・冬季におけるプロスポーツチーム・実業団や学生等ウインタースポーツの合宿誘致といった、通年でスポーツツーリズムを推進できる体制を整え、交流人口拡大、消費活動を増大させ、経済活性化・地域活性化を強く推進していく。		
事業概要・ 主な経費	○本市の特性（資源、立地、インフラ）を活かしたスポーツツーリズム戦略を進めていくにあたって、令和7年度以降の事業化（実証実験）を見据えた国内外の最新動向や先進事例の調査・研究 委託料：8,800千円 ○令和8年度のJリーグ夏季キャンプ誘致実装に向けた、市場調査の結果等を踏まえた本市のスポーツツーリズム戦略の策定 委託料：7,700千円		 トレッキング、登山、スキー等 運動アクティビティの提供 スポーツ アクティビティ スポーツ イベント スポーツ コンベンション プロチームの試合、 スポーツイベントの実施 スポーツ ツーリズム キャンプ・合宿の誘致
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①市内の観光消費額（+24億円） ②国際大会・全国大会等の開催数（+8件） ③誘致・開催した合宿・スポーツイベントへの市外からの参加者数 （+800人）		関連 URL （交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html

事業概要【産学官による、まちなか×地域振興事業】

推進当初

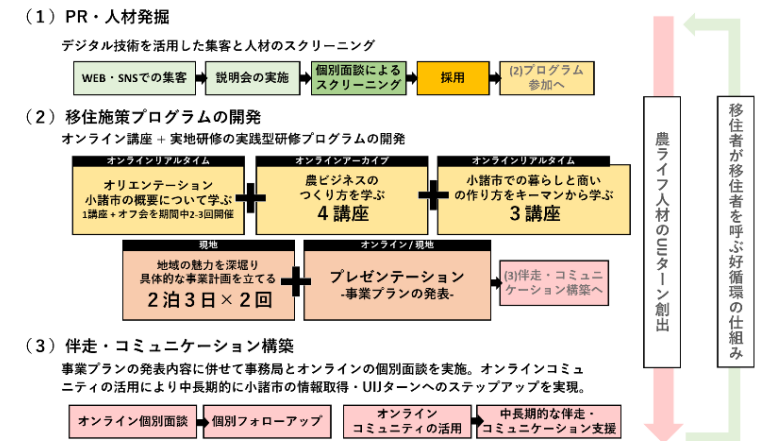
申請者	長野県上田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	170,100千円 (54,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	民間や大学、地域による積極的な協力のもと、まちなかに賑わいを生み出し、観光人口、交流人口、移住人口が増えていく将来像を描く。 こうした取組により地域住民にとっても住み続けたいまちとしての魅力を維持することにつながり、人口減少対策や持続可能な地域活性化に資するものとする。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○まちなかキャンパスうえだ運営事業 大学等による市民講座の開催等 委託料など8,000千円 ○中心市街地活性化事業 中心市街地の活性化支援や、出店補助 補助金など11,000千円 ○発酵のまちうえだ推進事業 発酵食品の食のイベントの運営 負担金1,900千円 ○上田城復元に向けた機運醸成魅力発信事業 デジタルコンテンツ作成、シンポジウム開催等 負担金6,000千円 ○シティプロモーション推進事業 若年層や関西方面へのプロモーション等 委託料など19,400千円 ○シェアサイクル活用推進事業 効率的な活用と自立化に向けた運営 負担金8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数 (+150人) ②シェアサイクルの利用回数 (+3,245回) ③まちなかキャンパスうえだ来訪者、利用者数 (+1,891人) ④上田城跡来訪者数 (+114千人)	関連URL	上田市まち・ひと・しごと総合戦略 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/1531.html 地方創生推進交付金事業の効果検証 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/2184.html

申請者	長野県岡谷市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	16,530千円 (5,030千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	市内企業への人材確保を強化し、その人材を市内移住に繋げていくことを目指していく。これに向けては少子化の進展により新卒学生だけでは、十分な人材の確保が困難であるため、新卒学生に加えて大都市圏などのU I J ターン希望者等を新たなターゲットとして捉え、市内企業への人材確保を移住に繋げる一連のしくみを官民一体となって構築する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	働きやすい企業 就職 U I J ターン希望者等 コンサルティング企業 伴走支援 情報発信 移住 移住相談・施策斡旋 岡谷市 ○従業員と家族に働きやすい職場環境をつくるため、コンサルティング企業に委託し、成果指標達成へ伴走支援。 ・報償費：事業周知に関わるセミナー講師謝礼:80千円 ・業務委託料：コンサルティング企業の指導、生成AI活用支援等 1社475千円×8社=3,800千円 ○成果指標を達成した企業情報及び採用情報をU I J ターン希望者等へのPR ・効果的なPR戦略立案、ランディングページ等デザイン作成、民間移住サイト等への記事作成・掲載=1,150千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのU I J ターン数 (+40人) ②成果指標達成企業への就職者数 (+60人) ③成果指標達成企業数 (+32社) ④事業への参加企業数 (+32社)	関連URL	「調整中」

事業概要【農ライフ人材の創出・定着促進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県小諸市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	33,754千円 (11,918千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・継続的なUIターン人材の確保・育成・伴走支援による農ライフ人材の創出を図る ・小規模かつ多様な中山間地域農業の担い手不足解消を図る ・“移住・就農希望者の課題解決”の仕組みの構築を図る ・『住みたい 行きたい 帰ってきたい まち 小諸』の実現を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	事業実施委託費 11,918千円 (内訳) ・プログラム企画 3,833千円 ・事前視察・PR素材収集 446千円 ・プロモーション費 4,797千円 ・オンライン講座、実地研修実施費 2,402千円 ・伴走支援費 440千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小諸市への二拠点生活者・UIターン（予定含む）の人数（+13人） ②小諸市への再訪参加者数（+30人） ③本事業への参加者数（+60人） ④オンラインコミュニティの参加者数（+360人）	関連URL	https://www.city.komoro.lg.jp/so-shikikarasagasu/somubu/kikakuka/3/1/6/14966.html



事業概要【八ヶ岳ファン拡大を通じた関係人口創出事業】

推進当初

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,500千円（14,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「若者に選ばれるまち」の実現。20～30代及び生産年齢人口の減少の抑制。 ・八ヶ岳のある暮らしを実現する「茅野市」の認知度向上、八ヶ岳ファンの拡大 ・茅野市を知り、訪れてくれた方が当市の魅力を感じ移り住んでくれるようになる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	20～30代をターゲットとした八ヶ岳を中心とした多様な魅力のある暮らしを伝えるプロモーション活動 若い世代や女性を対象に、UIターン者が地域での関りを定着するための多様な稼ぎ方の支援を行う ・八ヶ岳のある暮らしをプロモーションする動画の制作、発信 6,500千円 八ヶ岳の麓ならではの文化や暮らし、周辺アクティビティ、都心に日帰りでアクセスできる利点など。 ・登山等に興味がある層が関係人口や移住者となっていくことを目的としたイベント 3,000千円 30代を対象とした八ヶ岳とその山麓での暮らしの魅力を伝えていくイベント ・若者や女性対象とした起業・創業に向けた支援 3,000千円 若者や女性を対象とした地域課題等をテーマにスモールスタート可能なビジネスセミナー ・事業全体の情報発信及び関係人口の計測 2,000千円 事業全体の取組をSNS等を活用して広く情報発信する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（県外からの転入者増分）（+60人） ②イベント参加者等による新たな事業の創出（+1件） ③プロモーション動画等の到達数（+550,000件） ④プロモーションイベント等への参加者数（+90人）	関連URL	https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisai/1209.html

事業概要【企業DX推進事業】

推進当初

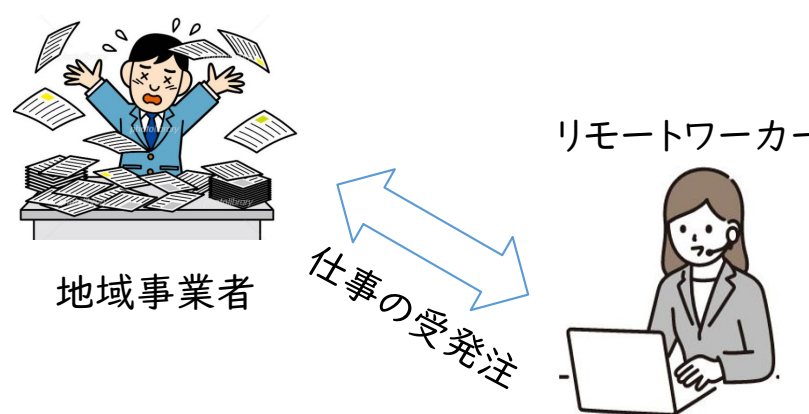
申請者	長野県佐久市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,000千円 (12,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	- 生産年齢人口の減少を背景に、DXの普及浸透やデジタル技術の実装支援、社内のデジタル人材育成及び地域のデジタル人材の活用・採用に対する支援を行うことで、安心して働ける「しごと」の創出及び雇用（人材）を確保する。 - デジタル技術を活用した変革により、業務効率化による生産性の向上や、地域産業の変革に対する支援を行い、産業や生活の質を大きく向上させ、活力あるまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロジェクト全般運営費用（委託料）12,000千円 ・運営：全体マネジメント、現状把握、課題整理、アセスメント、進捗管理全般 3,000千円 ・認識共有、機運醸成：デジタル化等に関する入門的な研修やワークショップの開催 2,000千円 ・実装支援：システム、ツールの導入条件の創出、コンサルティング、実証実験 3,000千円 ・人材育成、活用：ニーズに応じた人材育成研修の開催、地域のデジタル人材の活用方法の検討 2,000千円 ・プロモーション、普及啓発：Web制作・運用経費 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+135人） ②支援事業を通じた参加企業の労働生産性（+15%） ③デジタルシステム・ツール導入件数（+45件）	関連URL	（効果検証） https://www.city.saku.nagano.jp/shisei/seisaku_shisaku/tihosousei/mahishi_koukakensyou.html （令和7年10月公表予定）



申請者	長野県東御市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	48,000千円（20,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	- デジタルプレスリリースやWeb広告などネット上での情報発信を強化することで、認知度の向上を図る。 - 首都圏でのPR事業や東御市公式ファンクラブ会員向けのツアーの実施などにより、関係人口の拡大を図る。 - 東御市発足20周年をフックに若い世代が東御市の魅力を振り返る市民フォーラムを開催することで、シビックプライドの醸成を図る。 - 首都圏をターゲットに移住相談と併せて就業支援を実施することで、移住定住を促進する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	東御市を知らない これまで東御市の情報がリーチしていなかった層をターゲット（一般人・メディア）にした新たな施策 東御市を知っている 東御市のことを少しでも知っている層がさらに東御市に愛着を持つことができる施策 東御市に関わっている 東御市に住んでいる 最終目標 ○シティプロモーション情報発信事業 14,024千円 ・“食”をキーワードに首都圏等でのPRイベントの実施 ・ふるさとPR大使を活用した動画制作及びSNSによる魅力発信 ・シビックプライド醸成のための市民フォーラムの開催 ・各種イベント・行事の効果的な宣伝活動（デジタルプレスリリース） ・東御市公式ファンクラブ事業（ツアーやイベント） その他事業 ○移住者就業支援・移住相談会・交流会事業 2,476千円 ・移住と就業をセットで支援、首都圏での移住相談会の開催 ・地元住民との交流会の実施 ○デジタルサイネージ設置・活用事業 3,500千円 ・田中駅前設置し、旬な情報を発信		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+11人） ②人口の社会増減数（+278人） ③ふるさと納税寄附件数（+8,865件） ④認知度ランキング（長野県内19市）（▲3位）	関連URL	https://www.city.tomi.nagano.jp/category/tihouseusei/101654.html

事業概要【リモートワーカーを活用した労働力不足解消支援事業】

推進当初

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	40,120千円 (13,850千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・育児や介護中等、時間的制約のある方の就労を支援（リモートワーカーとして育成） ・リモートワーカーと地域事業者をマッチングさせ、地域の労働力不足問題を解決 ・都心部企業を誘致し、リモートテレワーカーの受注拡大及び若者等の新たな就労先を確保		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○リモートワーカーの確保育成・企業とのビジネスマッチング支援 ・事務局運営費 3,663千円 ・リモートワーカー紹介セミナー 517千円 ・IT基礎講座セミナー 2,013千円 ・スキルアップセミナー 3,806千円 ○サテライトオフィス誘致業務 ・誘致戦略の作成費 2,750千円 ・企業へのプレゼン資料作成費 550千円 ・視察対応マニュアル作成費 550千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 (+110人) ②スキルアップセミナー参加者数 (+80人) ③リモートワーカー活用イベント参加事業者数 (+15社) ④サテライトオフィス誘致件数 (+3件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) http://cms2020.city.azumino.nagano.jp/control/preview/soshiki/detail.php?lif_id=114757

申請者	長野県松川町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	35,200千円 (13,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・新規販路開拓による農業就業人口の増加 ・新規メニュー開発による地元PR効果からくる誘客の促進 ・都市間交流コミュニティ創出によるヒトの繋がりが生み出す新しい関係性の構築 ・農業・都市間交流分野による関係人口増加による移住定住者の獲得		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地元農産物を活用した都市部のトップシェフとの連携事業 (委託料、広告経費、パッケージ開発経費等) 6,600千円 ○リニア駅で繋がる都市間交流事業 (委託料) 6,600千円 (商品の開発/販売にとどまらない観光地としてのブランド化) Copyright © Country Crossing Inc. All Right Reserved.		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①地域における農林水産就労者数 (+120人) ②社会増減数 (+7人) ③ふるさと納税寄付件数 (+1,500件) ④地域の人口数 (▲589人) 関連URL https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html		

事業概要【DXによる地域観光業の持続可能性向上事業】

推進当初

申請者	長野県白馬村ほか2自治体※	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	142,000千円 (42,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・地域経済の中核である観光業において、最大の収入源であるリフト券の販売が天候の影響を強く受ける課題を克服する ・大規模CRMが可能なグローバル競合に対抗するため、DMOを中心とした地域一体でのCRM、マーケティングを実現する ・インバウンド拡大のために、自治体、事業者が広域連携できる、相互送客の仕組みを構築する ・広域連携により観光コンテンツの多様化を実現する、商品組成のためのDXプラットフォームを構築する		
事業概要・ 主な経費	①地域一体でのCRMを実現する“マイ・ポータル”の実装、運用 ・実装費用（開発会社への業務委託費用）：2,300万円 ②通年販売&ダイナミック・プライシングが可能なリフト券販売システムの実装、運用、各スキー場への提供：1,000万円 ③地域外との相互送客、実績把握を可能にする“広域相互送客機能”の実装、運用 ・実装費用（開発会社への業務委託費用）：700万円 ・協議会の設置、運営費用（DMOへの補助金）：200万円 ④コンテンツ共有・組み合わせで商品を多様化する“連携商品組成DXプラットフォーム”の実装、DMOでの運用、各スキー場との連携（来年度以降） ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①観光消費額（+12億円） ②マイ・ポータル登録者数（+10万人） ③連携自治体数（+10市町村） ④マイ・ポータル経由でのふるさと納税寄付額（+16億円） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	現行のDMO予約ポータル https://www.booking.vill.hakuba.nagano.jp/ 独自に進めている事業のプレスリリース https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000040.000060409.html

※長野県白馬村、野沢温泉村、小谷村の広域連携事業

事業概要【持続可能な地域づくりに向けた多様な雇用機会創出と関係人口拡大事業】

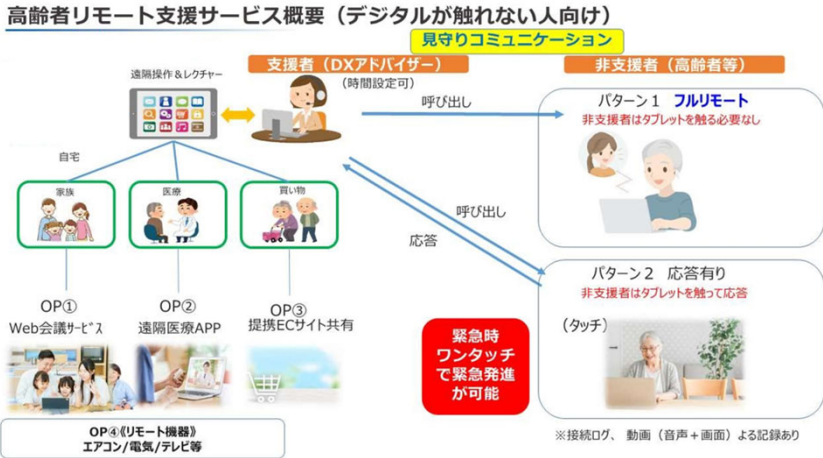
推進当初

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	32,080千円 (11,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	地域の季節的な雇用の不安定さと人口減少の課題に対応するため、安定した雇用環境の整備とシティプロモーションによるシビックプライド向上から関係人口の創出に取り組む。季節依存の産業からの脱却と関係人口拡大を通じて地域の持続可能な発展を促進することで、地域住民の地域愛を高め、町外からの移住者の増加を目指すもの。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【多様な雇用機会創出に関する事業】 ・先進地等調査業務 750千円 【シビックプライド向上に関する事業】 ・信濃町ガイドブック作成(委託料) 5,500千円 ・信濃町しあわせ会議の開催（委託料） 1,320千円 【関係人口創出・拡大に関する事業】 ・関係人口プラットフォーム開発（委託料） 2,530千円 ・関係人創出・拡大事業（委託料等） 1,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数 (+15人) ②特定地域づくり協同組合雇用者数 (+7人) ③信濃町ファンクラブ会員数 (+750人) ④信濃町への愛着度 (+9.53%)		関連URL (交付金の具体的使徒・実施体制・効果検証) https://www.town.shinano.lg.jp/docs/degidenjigyoku.html

事業概要【シン・デジタルデバイド支援による地域活力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	41,678千円 (13,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	①町内における事業者DXの推進 ②町内における雇用及びデジタル人材の活躍の場の創出 ③生産年齢人口の減少及び人口密度減少に伴うインフラサービス維持対策 ④デジタルデバイド対策		
事業概要・ 主な経費	【フルリモート支援サービスの実装事業】 ・フルリモート支援環境の構築及び貸出 1,582千円 ・実証実験の実施 4,000千円 【デジタル人材の募集・育成事業】 ・デジタルサポーター採用活動業務 990千円 ・人材育成プログラムの実施 1,250千円 ・eコマース分野を支えるデジタル人材の育成業務 1,000千円 【地域の小売業者に対するeコマースに特化したDX推進支援事業】 ・事業者伴走支援事業 2,998千円 【信濃町GDXセンターの運営事業】 ・信濃町GDXセンターの運営費 1,180千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①地域における新規雇用者数 (+8人) ②フルリモート支援サービス利用者数 (+80人) ③eコマースに関する事業者DX支援件数 (+3件)	関連URL	(交付金の具体的使徒・実施体制・効果検証) 令和6年12月公開予定



地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【道の駅を起点とした地域経済創造コミュニティ拠点整備事業】

拠点当初

申請者	長野県佐久穂町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,016,967千円 (218,340千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	「道の駅」を整備し「直売所」を開設することで、農家が販路を拡大しながら安定した収益を得られる拠り所となり、併せて既存農家と新規就農者との交流の場や研修の機会を「道の駅」から発信することで、協力して町の農業を発展させ、地域経済の活性化を図っていく。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	「道の駅」が、独り立ちを目指す有機農業や果樹農家を志す就農者の受け皿となり、販路を開拓しながら安定した収益を得られ、就農者が安心して過ごせる下支えの場となる。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 161,191千円 【建築物と不可分な設備工事】 57,149千円 ・電気設備工事費 26,376千円 ・機械設備工事費 30,773千円 【合計】 218,340千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①直売所売上収入（+241,594千円） ②新規就農者数（+9人） ③年間来場者数（+5,174.5百人） ④新規出品者・出店者数（+320件）	関連URL	https://www.town.sakuho.nagano.jp



地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【魅力ある信州農業の実現に向けた信州首都圏総合活動拠点機能強化事業】

拠点補正

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	長野県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	96,068千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	信州首都圏総合活動拠点（銀座NAGANO）の店舗を改修し、長野県を代表する農産物である果物などの青果物を中心とした売り場展開ができるようにすることで、本県農業のブランド力向上を図り、農産物の高価格販売につなげ、小規模な生産者であっても稼げる農業の実現に貢献する。		
整備内容・利活用方策	信州首都圏総合活動拠点を改修し、1階入口正面に青果物の販売やテストマーケティングができるスペースを設置するとともに、2階に新たに酒類専門の販売コーナーを新設する。また、会員アプリやセルフレジ、キャッシュレス決済などのデジタル技術を導入し来館者の利便性向上を図るとともに、顧客ニーズにあった商品情報を提供することで購入行動につなげる。 ・店舗改修：82,072千円 ・システム導入費：13,996千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+121億円） ②施設売上（+2,702万円） ③アプリ会員（+25,000人） ④テストマーケティング参加者（+52人）		関連URL https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/index.html



申請者	長野県長野市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	365,200千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	集客拠点である長野市茶臼山動物園において、人気が高く希少動物であるアムールトラの行動や生態を観察できる展示学習スペースと地域の特産物を販売する物販スペースを併設した複合施設を整備し、動物園の集客力と物販機能を高め、交流人口の増加と観光消費の拡大を図る。		
整備内容・利活用方策	展示学習スペース（屋外含む）において、屠体（とたい）給餌によるアムールトラの野生的な行動を展示するとともに、増加する捕獲動物の残渣の資源化につなげ、物販スペースでは、地元産のジビエ食材や農産物を販売し、観光消費の拡大につなげる。 また、施設周辺のWi-Fi環境の整備により、来園者によるICTを活用した情報の発信・受信機能を高め、観光誘客効果を高める。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】建築工事費 195,800千円 【建築物と不可分な設備工事】電気設備 26,400千円、機械設備 36,300千円 【施工監理】6,380千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【屋外展示施設整備工事】解体工事 22,000千円、屋外展示 69,300千円 【デジタル設備整備工事】Wi-Fi設備 6,600千円 【施工監理】2,420千円	 ＜アムールトラの生息環境展示イメージ＞	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+28,100千円） ②茶臼山動物園来園者数（+30,000人） ③SNS公式サイトのフォロワー数（+21,000件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html

事業概要【交流人口増加に向けた、みんなに愛されみんなとつながる動物園再整備事業】拠点補正

申請者	長野県小諸市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	360,033千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	小諸市動物園と一体となった小諸城址・懐古園は本市最大の観光拠点だが、1997年以降来園者が減少。また、動物園は、県下最古の歴史ある動物園で、施設の老朽化や動物の高齢化、動物福祉に考慮した獣舎の改修など様々な課題に直面しており、2026年動物園開園100周年の節目に向けて、更なる魅力向上のため新規動物の導入や獣舎整備を行い、幅広い層を誘客することで交流人口の増加と観光振興及び商業活性化を目指す。		
整備内容・利活用方策	動物がいきいきと過ごせる獣舎や、これからもみんなに愛され、「また行きたい」と思ってもらえるような施設整備、動物や小諸城址・懐古園の四季折々の風景をライブ配信することで誘客を図り、入園料の増加による持続可能な施設を目指す。 また、市LINE公式アカウント「信州こもろ・こま〜す」で電子チケットの購入を可能とすることで来園者の利便性を図る。 ・動物獣舎、トイレ等建築工事 306,764千円 ・解体、外構工事 53,269千円 ・動物等ライブ映像配信等 2,333千円 ・電子チケット導入アプリ改修委託料 1,800千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+2,043円/人） ②小諸城址・懐古園の有料入園者数（+228.2百人） ③観光地入込数（+9.9万人）	関連URL	https://www.city.komoro.lg.jp/so-shikikarasagasu/somubu/kikakuka/3/1/6/14966.html



事業概要【若者から子育て世代まで多様な居場所づくりと交流の場整備事業】

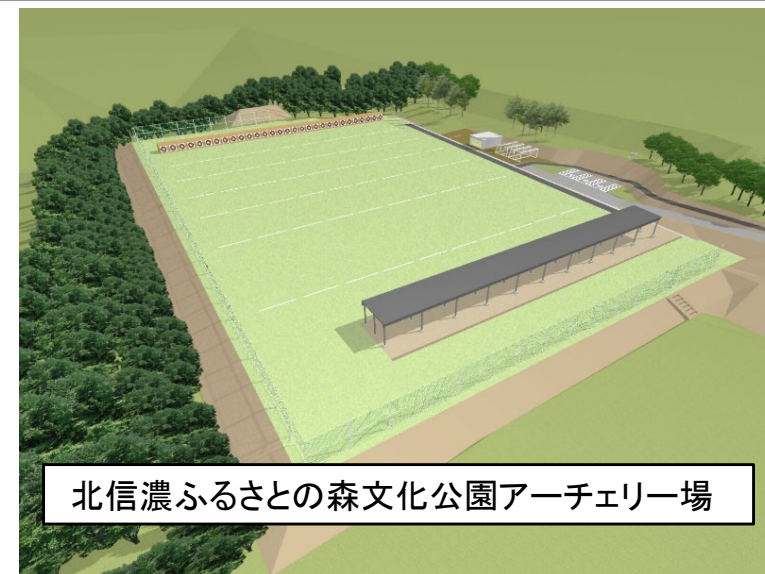
拠点補正

申請者	長野県中野市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	85,700千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	中心市街地に子育て支援拠点とソロワーク環境、賑わい創出環境が集約された「若者から子育て世代まで多様な居場所づくり等交流拠点施設」を整備し、中心市街地の賑わいと活力を高めるとともに、各種相談など子育て世代に必要な対応をワンストップで行える施設を整備することで、住み良さで選ばれるまちを目指す。		
整備内容・利活用方策	子育て世代のニーズに対応した天候に左右されない屋内遊戯と若者やビジネス環境として要望が多いソロワークスペース、夜間の賑わいを生む光による賑わい創出エリアを整備し、市民の満足度向上と中心市街地の活性化を図る。 また、自立サイネージを活用した多言語観光案内やデジタルアーカイブの配信を行い、周辺地域の誘客向上を図る。 【経費内訳】 ・内装工事費：60,000千円 ・プロジェクションマッピング及び駐車場等整備工事：25,700千円 施設イメージ  （子育て支援拠点） （ソロワークスペース）		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+200人） ②施設利用者数（+20,000人） ③関連イベント参加者数（+50,000人）	関連URL	令和6年6月公表予定

事業概要【北信濃ふるさとの森文化公園アーチェリー場利用促進整備事業】

拠点補正

申請者	長野県中野市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	31,945千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	北信濃ふるさとの森文化公園多目的グラウンドの全天候型の屋根付きアーチェリー場に、夜間照明や備品倉庫、障がい者の方にもやさしい多目的駐車場等の整備を行うことで、誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションに親しめる環境と利用者の地域課観光周遊に伴う地域全体の経済活性化を目指す。		
整備内容・利活用方策	雨天・降雪時でも利用できる屋根付きの全天候型アーチェリー場に、夜間照明や備品倉庫、多目的駐車場等を整備し、施設の魅力及び利便性を高め、自然環境・利用目的に合った施設の機能強化を図る。 また、公衆用無料Wi-Fiを整備し、大会運営時のデータ管理や大会のリアルタイムな情報発信を行う。 【経費内訳】 ・アーチェリー場施設整備工事：25,575千円 ・競技場夜間照明及び多目的駐車場等整備工事：6,370千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+2億1,500万円） ②施設利用者数（+8,469人） ③施設利用時間（+664h）	関連URL	令和6年6月公表予定



申請者	長野県松川町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	263,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	南信州まつかわの大自然と人が育む文化・恵みを五感で味わうスローツーリズムを達成するため、自然や文化が体感でき、人々とふれあいゆったりと自分時間を過ごすことができる拠点を整備することで、関係交流人口を増やす。		
整備内容・利活用方策	都市部から訪れた夫婦やカップルが、ゆったりと流れる時間を満喫してもらえるように、施設全体に木を感じられるように改修を進めます。 また、3世帯家族が、1つの部屋でのんびりと過ごせるように、客室を拡充します。 南信州まつかわの滞在拠点として、くだもの狩りや森林セラピー、森林散策、星空観察、フォレストアドベンチャー、ガストロノミーなどの自然体験プログラムとの連携により、南信州ならではの魅力を体感し、満喫してもらうことで、地域再訪の促進を図ります。また、AIによるレベニューマネジメント（価格設定と在庫管理の最適化）を導入し、AIによる業務効率化と、価格による機会損失を少なくし、客室稼働率を向上させます。 清流苑大規模改修設計監理費：33,000千円 清流苑大規模改修工事費：230,000千円 デジタル技術の導入（ソフト）：30,000千円		
KPI	※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域における観光消費額（+125,000千円） ②信州まつかわ温泉清流苑宿泊者数（+3,600人泊） ③来訪者満足度調査における「大変満足」の割合（+5%） ④滞在交流体験プログラムのうちガストロミソロジーの来訪者数（+250人）	関連URL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html



申請者	長野県松川町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	119,815千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	既存の誘客及び交流施設である梅松苑のコテージ等を現在のニーズに沿った整備をし、リニア開通後とアフターコロナ時代における当町の過疎地域の特色でもある自然あふれる地域資源を強みとした体験コンテンツを展開することによる、当該地域の交流人口増加による過疎を脱却した、サステナブルな地域を目指す。		
整備内容・利活用方策	梅松苑において、指定管理者、町DMO、当該地区住民と連携した地域資源や特色を活用したプログラム作成、プロモーションを展開し誘客促進を図る。 また、Wi-Fi整備を行うことで、山間部におけるインターネット環境の充実させ、ライブ配信等による新たな客層の増加を図る。 既存コテージの5棟の改修費：90,046千円 サウナ棟の設置費：25,356千円 キャンプサイト改修費：4,413千円 改修前 改修後（イメージ）		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・地域における観光消費額（+39,000千円） ②・・・生田地区観光宿泊施設宿泊者数（+450人泊） ③・・・来訪者満足度調査における再来訪意向率（+25%） ④・・・社会増減数（▲14人）		関連URL https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html

事業概要【過疎地域における廃校を活用した新しいコミュニティ創出拠点整備事業】

拠点補正

申請者	長野県松川町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	3,410千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	町東部の山間地に位置し廃校となっている旧松川東小学校を拠点とし、デジタルファブ리케이션ラボ改修による施設の充実化を図り、施設の窓口や受付機能を付加することにより、そこに集うコミュニティや都市間交流、観光交流者、地元住民同士が繋がれる仕組みや場所をつくりだし、新しいコミュニティの共同体が形成され活用されることで、失われつつある地域のアイデンティティを取り戻し、地域活性化へとつなげ、地域一体となって移住者を呼び込むことができる。		
整備内容・利活用方策	○既に複数の団体で活用され始めてきている旧松川東小学校を、地域外人材による新たなコミュニティや、既存コミュニティ同士の新たなつながりを生む新しいコミュニティ形成拠点として整備する。 ○当施設で活動する地域おこし協力隊に、既存コミュニティの活動や、移住者との交流活動で生まれたつながりを地域へつなげる窓口・受付機能を持たせる。空間の拡充整備とウッドデッキを設け、住民や移住希望者等の体験統括を行うとともに、実際に来られた方のコミュニティ同士を、受付が橋渡し役となり、交流を図る。 ○若者がデジタル木材加工機(ShopBot)を活用し、3Dデータや設計データの作成から、ものづくりを行うことでデジタル人材の育成につながる。また、ものづくりの元になる木の生育から伐採、加工、製品としての使用まで一連の循環をプログラムとして体験してもらうことで、林業への理解の促進や地域への愛着を醸成し、UIターン者の増加につなげる。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事費】 デジタルファブ리케이션ラボ改修費：3,410千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値	①地域へのUIターン数（+32人） ②旧東小学校の利用者数（+864人） ③旧東小学校の利用団体数（+12団体） ④該当地区を拠点とした観光交流ツアー売上高（+6,310千円）		
		関連URL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html

